

令和2年9月4日

文書の送付について

平素より御高配を賜りありがとうございます。

御請求いただきました文書について、CDの形態にて、同封のとおりお届けします。

よろしく御査収願います。

<同封物>

報道番組の概要 58枚

以上

※個人情報保護の観点から、御請求者様に係る情報と同封物の詳細を省略させていただきます。

御無礼、何卒御容赦願います。

内閣広報室

6月21日(金)～23日(日)夜の報道番組の概要

令和元年 6月 24 日

内 閣 広 報 室

担当：山村・樺山

6/21(金)

■テレビ朝日「報道ステーション」(21:54～)

<放送内容>

- 21:54 オープニング
- 21:55 群馬・栃木・兵庫・鹿児島に大雨警報 あすも関東で激しい雷雨の恐れ
- 21:56 日本人初の快挙！夢の舞台へ 八村塁(21)運命のNBAドラフト
- 22:12 パトカー追跡も…確保できず 指名手配の“刃物男”逃走中
- 22:20 秋篠宮さま「私は分かりません」 眞子さま 結婚の見通しは…
- 22:25 イラン攻撃を承認 直前で中止に トランプ氏「10分前に止めた」
- 22:26 麻生大臣の問責・不信任案を否決 “老後2000万円”問題
- 22:30 “被災地の温泉”再スタート 新潟・山形地震
- 22:34 金曜特集 “ばんえいの星”連勝にける思い
- 22:46 気象情報
- 22:52 スポーツ

■TBS「NEWS23」(23:00～)

<放送内容>

<放送内容>

- 23:30 髪型が…“逃走中”の新たな写真公開
- 23:33 麻生大臣の「問責」「不信任」否決
- 23:34 “意外な議員”に「解任決議案」のワケ
 - ・ VTR後のスタジオトーク
- 小川彩佳・キャスター「予算委員会は委員の3分の1以上の要求があれば開かなければならないという規則がある。さらに金子委員長も重く受け止めているというふうに述べているにも関わらず、委員会が開かれなかったというのはどういうことですか。」
- 星浩・アンカー「はっきりしているのは、金子委員長が自分で握りつぶしているわけではない。実際に何が起きているかというと、安倍総理の意を受けて官房長官なり官房副長官が自民党の方に今回の予算委員会はちょっと無理ですよと伝えている。金子氏はそれに従ってると過ぎないというのが実際のところである。」
- 小川彩佳・キャスター「予算委員会というのは活発な議論が期待できる場所ですから、今だったらイギリス・アショアの問題だったり、老後2000万円の問題も議論して

いただきたいことがありますけれども、それでもかたくなに政権が避け続けるのはどうしてなんですか」

星浩・アンカー「去年森友・加計問題で相当追及を受けたので、去年の二の舞は嫌だというのが安倍総理の本音だろう。もう一つとしてはなんといっても安倍総理・官邸の頭の中にあるのは、夏の参院選挙を乗り切りたいと。そのためにも不安要因は全部摘み取りたいということである。日米の貿易協議などいろんな問題があるので 予算委員会を開くべきだし、国会が規則通りに動かない、規則を守らないというのはどうしたものかと思うし、やはり国権の最高機関である国会を軽視するのはよくないことだと思う。」

小川彩佳・キャスター「国会を軽視して真正面から向き合おうとしていないように見えることの方が、かえって政権へのダメージになるようなという気がしますけどね。」

23:40 中朝” 蜜月会談” その視線の先に…

23:44 NBAドラフト 八村塁 (21) 日本人史上初1巡目指名

23:51 眞子さまの結婚「私は分からない」

23:51 自衛隊ヘリが“大破”原因は…

23:52 トランプ氏「イラン攻撃 10 分前に停止」

23:52 「骨太の方針」“定年の廃止”も

23:52 香港デモ 警察本部を包囲

23:53 10 連休でも… 百貨店売上↓

23:53 「ウナギの完全養殖」でかば焼き

23:53 交番襲撃 男の自宅を搜索

23:54 金曜＝第三惑星 創作写真で問いかける“沖縄戦”

※ 創作写真を通じて沖縄の過去と現在を表現する写真家、石川真生氏を取材

・ 星浩アンカーのスタジオコメント

「今度の日曜日は慰霊の日だけれども、去年の 12 月から辺野古への土砂投入が始まっていて、土砂投入が始まって初めての慰霊の日ということにもなる。私も取材で度々沖縄を訪れているけれども、沖縄は戦争と占領という重い苦悩を抱えているが、私は今この辺野古の問題というのも沖縄の新しい苦悩になっているんじゃないかと思う。日曜日は安倍総理も追悼式に出席するけれども、とんぼ返りで戻るんじゃないくて、沖縄の苦悩に耳を傾ける時間を取るべきじゃないかと思う。」

00:02 スポーツ

00:09 75 歳の男性国道逆走で…

00:09 10 歳の女の子” 900m の壁” 制覇

00:10 民主党政権の元防衛副大臣 自民党へ

00:10 都立高でスマホの持ち込み認可へ

00:12 天気

00:13 エンディング

6/23(日)

■TBS「サンデーモーニング」(8:00～)

<放送内容>

8:00 速報 逃走していた実刑確定の男(43)を逮捕

8:01 米のイラン攻撃 “10分前に中止”

・ 東洋大学教授・横江公美氏のスタジオコメント

「トランプ大統領の場合は、今自分が持っているものを最大限に見せると。用意をしたというのは一つの抑止力に使っているというふうに言えると思う。今回はドローン(※無人偵察機)で人が乗っていなかった、アメリカ人が亡くなっていないので釣り合いが取れないから(攻撃を)止めると言ったけれど、ということは、もしアメリカ人が一人でも死んだならば、それは(攻撃を)やるというメッセージもここに入ってるわけである。それからサミットの前だから、やはり自分の国ひとつだけでやると、やはり国際社会からの非難とかもある。だからやっぱりサミットの前にはやりたくないだろうということもあるとは思う。それからサミットに行った時は、日本もこのホルムズ海峡地域は(船が)非常によく通るので、タンカーも日本の船だったということもあるから、ここでトランプ大統領から安倍首相に何か頼むのではないかとということも考えられると思う。」

8:17 若い世代にも広がる不安”年金”与野党の攻防

・ 福山大学客員教授・田中秀征氏のスタジオコメント

「(関口：ダブル選挙はもうないんですか、可能性としては。)もしやったら与党は嘘を言ったことになるからないだろうなと。(関口：今の政界をみて何をお感じになりますか。)一連のものは見えてしまっているからまた隠すというのもおかしな話だというふうに思っているが、年金制度に対する不信感と不安感はずっとあつた。かなり大きくあつたため、それが明らかになったという点では良かったんじゃないかと思う。これをどうするかということなんだけど、そのためには、麻生さんが破綻していると言ったのは正しかったんですね。それをその後でまた違う方向に行ったからいけないかもしれないけれども、結局私なんかの責任にもなるんだけど、やはりバブルの発生から崩壊に至るあの大変な上り調子の時のあの方向で年金制度を基本的に考えてきて、それに対する転換がなされていなかったというふうに僕は受け取って、自分も政界にいた時の責任も感じてしまう。(関口：そういうものが大きかったと僕も思います。)だから野党も与党も根本的に考え直す機会にすればね、そうしたら大きなプラスになってくるんじゃないかというふうに思う。」

・ ラジオパーソナリティ・荻上チキ氏のスタジオコメント

「今回の報告書、2000万円全員足りなくなるものではないが、ただやっぱり年

金制度の不安感というものと、それに油をさすような、ガソリンをぶちまけるような麻生さんの5万円とか貯蓄が必要だと誰でもわかるというの発言から大きな反発するというのが呼ばれたと思う。これから例えば安倍総理が良く強調しているようにマクロ経済スライドによって支給額というものを経済状況に合わせて変化させていく。それはつまり若い世代にとってはこれから受給額が減ってくるので、さらに言うとう受給開始年齢というのも60歳から70歳75歳という形でとして上にずらしていくということになるだろう。そうすると世代間で年金の意味合いというのも当然変わってくる。まだこれから高齢者の生活保護受給者というのも増えていくだろう。それは年金だけでは暮らせないから。それからまた若い人たちも、そもそも年金を納める環境になかった方々、この方々をどうするのかというような政治の課題もある。つまり年金問題を真正面から議論すると、雇用の問題や社会保障の議論に突っ込んでいかななくてはいけない。それこそ本来は選挙前の今だからこそ真正面から国会でやってほしい。」

8:30 習主席初の訪問 朝鮮半島非核化に中国は

・ 横江公美氏のスタジオコメント

「やはり米中の中で今貿易戦争と言われているけれども、やはり中国の経済の方が疲弊している。それから米朝の間でも、やはり経済制裁で北朝鮮の経済は非常に辛い立場にある。こういう時にトランプ大統領のディールというのは、お互いそれぞれウィンウィンではなく、自分が100%勝つことを彼にとってのディールというので、ますますの中国に対しては緩めることはない、中国政府の中国企業への補助金を止めると非常に言っている。それを止めると中国企業がすごく辛いわけです。そうすると習近平主席にとってはやはりここで何か持っているというか、北朝鮮とのことも持つてるよっていうのを見せたいだろうなと。そこで足並みを揃えるために行っただろうなというふうに思う。」

・ ジャーナリスト・青木理氏のスタジオコメント

「(関口：日韓会談は無くなったんですか。) 韓国側はどうも要請しているんだけど、日本側がという感じみたいですね。(関口：やったほうがいいと思うんだけど) 日韓だけじゃなくて今回G20サミット大阪はどうも大変みたいですけれども、ある種これでまたやってる感というのが出るけれども、中朝も会ったでしょう、北朝鮮に関して韓国も会ってるロシアもアメリカも会っていて、蚊帳の外感というのがますます強まっている。一方日本はどうかといえ、武器を馬鹿買いしてアメリカについていくということをずっとやっているだけで、地域の平和と安定に向けた独自の思想とか独自の構想はないんですよ。かつ歴史認識問題で未だに韓国としこりを残している状況になっていて、だから北朝鮮からしてみれば日本を相手にしなくてもアメリカとやればついてくるでしょ、どうせあんたたちはというふうに見られている。先ほどチキさんが年金の問題もきちんと話すことが選挙の争点ではないかと言ったけれども、

冷静になってみるとサミットがあつて首相がいろいろ出てきて、やっている感だけはあるような感じがするけれども、本当はどうなのかっていうあたりもきちんと見て、これも参議院選挙、衆議院があるかどうか知りませんけれども、これも大きな争点だということを考えながら見ないといけないと思う。」

8:40 スポーツ

9:13 一週間振り返り

9:33 速報 逃走していた実刑確定の男(43)を逮捕

9:34 天気

9:36 風を読む ”不都合な事実”

※2017年の森友学園問題以降、各省庁で続く不都合な事実を歪める問題についてVTRで紹介

・田中秀征氏のスタジオコメント

「そういう問題が多すぎる。例えばいろんな問題がある中で、積極的に国会の予算委員会を開いて説明責任を果たすとか、そういうことをしないとやはり逃げているように思える。僕がどうしても許せないのは、集団的自衛権の行使の閣議決定で、あの土台になっている内閣法制局の議論を記録しなかったという。一番大事なことを記録しないで、これは隠蔽よりも廃棄よりももっと悪い。不都合なことを記録しないのだから。(関口：そっちの方向に行ってるみたいですね。)だから集団的自衛権の行使が決まったといっても何でそれで決まったといえるのと言いたくなる。そういう雑なことが多すぎる。」

・評論家・大宅映子氏のスタジオコメント

「全く同感だが、それともう一つ、失言とかいろんなミスとかの出てくる程度が悪すぎる。昔はもうちょっと政策に直接絡んだようなことで問題になったのが、ちょっと計算間違いでしたとか角度がずれたとか、中学生じゃないんだからという感じのものがすごく多い。以前ならもう大臣の首が何人も飛んでるんじゃないかという実感があるけれども、それがそうならないのは、どこで何が、こちらもしかしたらもっと怒らなければならない、そんな感じがする。」

・横江公美氏のスタジオコメント

「臭いものに蓋をして中から腐っていきそうな感じがする。日本の政治が悪い方向というか、気が付いたらこんなことになっていたとなつてそうで、ちょっと怖いと思う。それから先ほど秀征さんがおっしゃったように、どんな記録を残してそれからどのくらい残るのか、それから黒塗りにするのではなく、何が消してもいいものなのか、そういったものを決まりとして作ってもらわないと、日本の国の情報が世界からも信用されなくなってしまう危険性も感じる。」

・荻上チキ氏のスタジオコメント

「公文書管理法という法律があるが、それがちゃんと適用されていないちゃんと適用されていないということと、もっと厳しくしなければいけないということがあると思う。この間例えば障害者雇用水増し問題とか、ある働き方改革の

時のデータ捏造の問題などもあった。これは厚労省とか、それから外国人労働者問題は法務省、それから防衛省のPKOの問題とか、それから加計学園の時は文科省、そして森友学園問題での財務省という形で、各省庁横断的に様々な問題が起きているので、これはもう既に全ての省庁で問題が起きているということ仮定して、しっかりとそうしたものをコントロールするための法律というものを通さなければいけない。しかし同じく文書を残していないのは実は内閣も官邸も残していないので、官邸主導でこうしたような問題を本当に進められるかどうか、そこに対してものすごく及び腰になっているということ、批判的な目線で見えていきながら、公文書の管理・公開、この辺りについてのルール作りを厳格にしっかりとするような、そんなことも問うような選挙にして欲しいと思う。（関口：IT時代だったら、文書というよりも電子でも残せないものなのかね。）メールも自動的に消去されるとか、あるいは1日で消すとかいう運用をしているといっているの、さすがにそれは嘘じゃないか、嘘じゃないんだったら、誰が考えてもおかしくないものに改善してほしい。」

・青木理氏のスタジオコメント

「みなさんおっしゃったことに賛成で、それで何が起きるかということなんです。つまり都合の悪い事実とかデータとか文書を隠す、捻じ曲げる、改ざんする。それで都合のいいデータばかりかき集める。こういうことをすると、チキさんが少し言ったけれど、官僚機構、この国テクノクラートが相当ネジ曲がって腐ってきてるんじゃないかということなんです。本来テクノクラート、官僚組織というのは、政権が右に行こうとしても左に行こうとしても、基本的なデータをちゃんと提示して、この事実はこうですよ、データはこうですよ、その上で政治家が右に行くか左に行くか判断するんだけど、このデータが全部おかしくなっている。これおかしくなるといことは、要するに事実とかデータに基づかない政治になる。政治家は今回審議会が、あれは事実でしょう、事実を出したら拒否するわけだけど、そうなるともう出さなくなる。ということは希望的観測だったりとか、事実に基づかなかつたりとか、データに基づかない政治が進んでいく。本当に冗談抜きでこれ破滅への道ですよ。かつて体験したはずなんです。」

■テレビ朝日「サンデーステーション」(16:30～)

<放送内容>

16:30 オープニング

16:30 逃走男 逮捕の一部始終 横須賀のアパートに潜伏

16:48 ニュース読み比べ 「五輪チケット」 当選倍率は？

16:55 「東京五輪」 今後の課題は？

・ジャーナリスト・後藤謙次氏のスタジオコメント

「7月24日が東京五輪の開会日であり、小池東京知事が7月30日までの任期で

ある。任期切れから 30 日前に選挙をやりなさいということだが、今自民党内、特に東京都連で小池知事の対抗馬を擁立しようということが委員会まで出ている。つまり知事をそのまま続投させるのかさせないのか、まだ決着がつかないままに来年の五輪直前まで知事をやっていたいんですかと。この問題は政府与党揃って、内部で決着をして、安定的な東京五輪の運営に向かうと方針が一向に示されていない。これが一番の不安である。

(Q. いつ決めるんですかね。) 早々に決めなければ年明けには知事選モードになってしまう。」

16:59 検証「震度6強」の現場 “地震に強い” 家づくりは

17:09 耐震化政策 課題は

・ 後藤氏のスタジオコメント

「政府の目標は 2020 年に 95% と言っているが、5 年前は 82% であり、ほぼ到達は無理だろうといわれている。その最大の要因は高齢化世帯がなかなか耐震建設補強に踏み切れない。最大 100 万円まで助成してくれるが、そういうお金を果たして出すのかという迷いもあり、自治体がどう説得をして、その耐震化された住宅を増やすかという努力も必要であると思う。日本全体で考えなければならない問題だが、様々な問題が絡み合う非常に複雑な問題である。」

17:12 今週のランキング

17:21 大阪の工場で大発見 ペットボトルむしゃむしゃ世界救う？

・ 後藤氏のスタジオコメント

「(Q. プラスチックごみによる海洋汚染、金曜日から開かれる G20 でも話し合われる予定となっていますが、具体的なことが決まっていますか。) この間、開かれた G20 のエネルギー環境大臣会合では海洋ごみ対策に向けて枠組みを作りましょうということで合意をしたが、ここから先の目標について議長国である日本は 2050 年に海へのプラごみ流出ゼロという目標で模索しましょうとなっているが、果たして足並みが揃うかどうか。今回初めてプラごみ対策に向けて、地球規模の問題だと合意ができそうであるため、まずここで一旦頭出しをして、そのあと具体的なガイドラインを作っていきますと、そこに行きつくことができるかどうか最大のポイントである。」

17:25 “バスケの道” 誘った親友 快挙の裏で「ありがとう」

17:30 逃走男 先ほど身柄移送 大胆…近くの公衆電話を

17:35 吉田輝星 注目の先発 “プロ2連勝” どうなった

17:40 米 イランに追加制裁へ 報復攻撃 「今はやめている」

17:41 沖縄慰霊の日 追悼式 対立する県と政府は緊迫

17:44 巡査の回復願い… 住民が千羽鶴を交番に

17:45 スポーツ

17:51 上皇后さまが白内障の手術 先週の右目に続き左目を

17:52 92 億円損失 政府系ファンド 民間に増資要請 リスク恐れも

17:53 気象情報

17:55 世界各国の首脳が大阪に G20 サミット注目は？

・ 後藤氏のスタジオコメント

「(Q. このG20での米中首脳会談はどうなるのでしょうか。)政権幹部に取材をしたが、着地点が確認できることはない。米中合意はなかなか難しいということである。

(Q. 追加関税があると。)米国は5000億ドル輸入し、2500億ドル輸出しているため、その分まだ米国は余裕がある。ただトランプ大統領に今回は合意に至らない、そういう意思がないだろうと思わせるのは今朝、北朝鮮中央通信が報じたトランプ大統領から金委員長宛への手紙である。習主席が先週訪朝し、金委員長と会い、中朝蜜月時代をトランプ大統領に強くアピールしたが、トランプ大統領の今日の手紙で『我々もあなたの介在がなくても金委員長と会えますよ』と、中国へある面で当てこすりをしている。その意味ではトランプ大統領は今回の米中首脳会談で合意に至ることはない本人がそう踏んでいるのではないかという気がする。今回のサミットにおける会談は、大広間で行う全員が集まる会合よりも個別の部屋で行う二国間会談の方が重要である。

(Q. 個別に入らないといわれている日韓もありますけれども。)日韓の会談はなかなか難しいと思う。」

以上

10月4日(金)～6日(日)夜の報道番組の概要

令和元年 10月 7日

内閣広報室

担当：山村・樺山

10/4(金)

■テレビ朝日「報道ステーション」(21:54～)

<放送内容>

21:54 オープニング

21:55 大雨、冠水、強風…各地で被害 温帯低気圧の影響で大荒れ

22:03 復旧を遅らせる“激しい雨” まもなく1ヵ月 千葉の被災地では…

- ・ 弁護士・野村修也氏のスタジオコメント

「この間千葉県に行ったが、ご高齢の農家の方の中にはビニールハウスが倒れてしまったため、農業を諦めなければならないと話している方もおり、こういう我々になかなか見えない被害が多いと思う。固定電話の話があったが、停電が復旧したため、電話が通じるかと思ったら、まだ約1万軒の固定電話が通じていないという話だが、もちろん固定電話の他に携帯電話を併用されている方も多いと思うが、中には固定電話だけで暮らしている方もいる。こういう方々にとってみると命綱になっている部分もあるため、できれば復旧作業について、一番お困りの方から復旧をしてくような段取り、優先順位の付け方のようなものもぜひ検討してほしいと思う。」

22:12 “令和”を9回連呼 台風対応にやじ 臨時国会 与野党の攻防は…

- ・ 弁護士・野村修也氏のスタジオコメント

「(Q. 安倍総理がこだわっている憲法改正なんですが、どのように議論が進められていくべきなのでしょう。) 憲法は基本、国家の権力の使い方について定めているものであり、それを定めるのは国民である。国会議員は基本的には国民の中に憲法を変えたいという声がないかどうかをしっかりと確認しながら、もしそういう声があれば、それを国民投票に付すべきかを慎重に議論することが本来の役割である。他方において、だからこそ大事なことは国民が求めているような案を示して、強行的に議論を進めていくということもまた間違いであり、基本的には国民の中にどういう声があるのかを吸い上げていく。ここが正に国会議員の責任であるといえると思う。そういう意味では今回、野党側にも国会審議の中で憲法議論をしっかりとやっていきたいと思いますという声も出てきているため、国民の声をしっかりと聴いた形での議論が進んでいくかどうか、そこを注目したいと思う。」

22:20 監査役が2度“指摘”も公表せず 関電幹部の金品受領問題

22:28 「複数回殴り手加減しなかった」 目黒虐待死裁判 父親証言

22:34 「覆面禁止法」マスク着用が違法に 香港で“緊急条令”発動
22:35 激辛カレーを体にこすりつけ… 小学校教師4人が後輩教師にいじめ
22:36 犯人「ベッドから降りろ」と指示 茨城 夫婦殺害事件
22:36 選手に暴言「けがしてしまえ」 湘南ベルマーレ監督 パワハラで処分
22:37 バンクシー作品 13億円で落札 予想の6倍 過去最高額
22:40 気象情報
22:45 スポーツ

■TBS「NEWS 23」(23:30～)

<放送内容>

※世界陸上のため、10/4まで放送休止

10/6(日)

■TBS「サンデーモーニング」(8:00～)

<放送内容>

※ 世界陸上中継のため30分短縮

8:30 スポーツ

9:08 一週間振り返り

- ・ 寺島実郎氏のスタジオコメント

「(香港問題について) 建国70年で中国の強権化が目立つが、実は香港問題は一定の方向感が見え始めている。『大湾区計画』という言葉があるが、要するに広州と深圳と香港とマカオが繋がって、ここを一体開発していこうという流れの中で注目しているのは、先月中国の大陸側から香港を訪れた人の数が前年比で4割減ったという。香港がこれまである程度繁栄を謳歌できた理由というのは、年間5000万人を超す中国本土から来訪者が支えていた。そういう圧力の中で、香港に対する流れが見えてきたというのが一つ。その中で台湾だけでも、実は先月すごく大きなことが起こっていて、台湾と外交関係を遮断したという国が二つ出た。南太平洋のソロモン諸島とキリバスという国で、これで台湾が外交関係を持っている国はわずか15カ国になってしまった。ものすごい勢いで孤立化を図っているという意味で、中国の東アジア政策というのが新しい局面を迎えている。その中で日本が東アジアにどう主体的に関わるのかということが問われてきている。」

- ・ BS-TBS「報道1930」松原耕二氏のスタジオコメント

「(かんぽ生命がNHKに対し圧力をかけた問題について) 抗議を受けたNHKの経営委員会が会長を厳重注意する。しかも議事録に載せるルールなのに載せていない。しかも抗議する側の郵政グループには総務省の元事務次官が睨みを利かせている。この構図だけを見てもあってはならないことだと思う。一連の報道をみて一番驚いたのは、NHKの経営委員会と会長が報道機関を持つメディアとしてのトップの仕事というのが何なのか分かっているのかということである。かつ

てNHKの会長で、政権が右と言ったら左というわけにいかないという人もいたが、要はメディアの責任を分かっている人というよりは、政権に近い人を送り込んできたということがやはり影響しているのではないかと思う。何より同じメディアに携わる人間として、NHKの記者やディレクターは本当に悔しかったと思うので、ぜひ頑張ってほしいし、ぜひ視聴者の方を見ていい仕事を続けてほしいと思う。」

- ・ ラジオパーソナリティ・萩上チキ氏のスタジオコメント

「(あいちトリエンナーレへの補助金不交付決定について) 脅迫が相次いだことを受けて不交付を決定するということは、脅迫をした人たちに対して一つの動機付けとかトロフィーを与えることになる。つまり脅迫をすれば補助金剥がしということが成功しますという前例を国がつくったということになるので、これはとても恐ろしいことだと思う。こうした文化系の事業というのは、基本的にはお金は出すけど口は出さない。その構図を確保するために基本的に予算の使い方については専門家に意見を尋ねるということになる。これは交付の段階で尋ねるが、交付したあとに今度は不交付をするという段階で尋ねないということになれば、気に入らないものはいつでも撤回できるというその前例にもなる。これは専門家の軽視でもあるので、委員の方がこうして辞退されるということは当然のことだと思う。加えて公文書も残っていないということになると、手続き上の瑕疵があるのはむしろ国だということにもなる。こうした悪しき前例が続いてしまうということとはとても懸念が必要だと思う。」

- ・ 寺島実郎氏のスタジオコメント

「(米朝実務者協議決裂について) トランプという人の頭の中にあるのは選挙で、次の大統領選挙に有利であるかどうかで、なんとしてでも外交成果として自分が手がけた北朝鮮問題について一定の成果を上げたい。だから今回の交渉でも何らかの制裁緩和だとか、それから体制存続の保証だとかというところに結構アメリカ側からすればコミットしたスタンスをとったと思う。ただもっと足元見られているというか、実際にはこの制裁についても、中国だとかロシアがもう制裁を緩和する局面の中に動いている。そういう状況の中でトランプ任せの北朝鮮問題への対応ということを日本が考えていたら、とんでもない方向感に向き合うことになる。その辺りのことを腹くくるべきだと思う。」

9:36 天気

9:36 風を読む “ONE TEAM”

※ ラグビーW杯で快進撃を続ける日本代表を支える外国籍、あるいは外国にルーツを持つ選手たちを通じ、日本における多様性をテーマに議論。

- ・ 寺島実郎氏のスタジオコメント

「今回の国会が始まった所信表明演説で、安倍首相が多様性を大事にするということを盛んに言われた。一億総活躍という額面で言えばもったもな話だが、一方で今日本が見せているのは、極めて偏狭なナショナリズムへの回帰である。自国

利害中心主義に世界がなっていることに誘われるように、しかもあらゆる議論の流れが国権主義とか国家主義に。多様性を持つということは民主主義だが、これには我慢がいる。自分とあらゆるものが違う人を許容しながら一体になって進んでいこうという考えを受けている。だからそういう意味で日本が本当の意味で多様性を目指すというのなら、何を変えていかなければならないのかについて、本気で考えるべき時代に入ったと思う。」

・ 松原耕二氏のスタジオコメント

「外国人の受け入れという意味では、日本は二つの顔を持っていると思う。一つはラグビー代表されるようにアスリート達の多様化が進んで日本の意識も変わっているのが一つの顔。もう一つは、その一方で難民の受け入れに消極的だったり、入管では外国人に対する抑圧みたいなものが報告されていたり、あるいは外国人労働者の拡大の議論を去年から今年にかけて見ても、家族の帯同はまだほとんど許すという感じにはなっていない。それがもう一つの顔としてやはりあると思う。例えば10年ほど前には、自民党の中の有志で、すごく開かれた移民社会をつくろうという提言もあったりした。でもその自由さは、今はだいぶ失われていて、今の政権はどちらかというと逆ぶれして保守層を意識した言動ばかりが目立つというのが今の特徴だと思う。だから二つの顔があるけれども、それどうやって一つにしていけるのか。特に政治と行政の分野は国民に比べても意識が遅れていると思っていて、それを一つの意識にしていけるという努力を進めない限り、やはりラグビー型の社会というのはまだ難しいだろうなという気がする。」

■テレビ朝日「サンデーステーション」(16:30～)

<放送内容>

16:30 オープニング

16:31 劇的トライで3連勝！ 圧巻“執念のスクラム”

16:54 ニュース読み比べ ラグビー日本代表8強に“王手”

17:00 ラグビーW杯 五輪関係者はどうみる？

・ ジャーナリスト・後藤謙次氏のスタジオコメント

「五輪組織委員会は今回のラグビーを非常に研究している。例えばパブリックビューイングが非常に増えており、逆にサッカーのように若者が騒ぐことがないため、このパブリックビューイングの場所をどうするか。あるいはお弁当の問題、ラグビーは途中から持ち込みをOKにしたため、これについても、組織委員会も検討したいという意味では今回のラグビーの大会を基礎にいろいろと練り上げているという状況であると思う。」

17:02 関電マネーの“闇” 原発と歩んだ高浜町

17:11 原発マネーの“闇” 真相解明に国会は

・ 後藤氏のスタジオコメント

「(Q. どうすれば本当に真相が明らかになっていくんでしょう。) 今回の時代劇

を見ているような巨額な金品にやりとりの非常に大きな特徴は、報告が全くないということで社内的な非常にインナーの調査委員会の報告を記者会見で発表しただけだと、経済産業省も怒っている。菅原大臣自身も『言語道断だ。由々しき事態だ』と発言している。そして自民党の岸田政調会長も国会で明らかにすべきだと。まさに刑事訴追ができないとなれば、やはり国会で真相を究明すると。これは国会の国政調査権という最も権威ある権限の発動によって、事態を明らかにしていく。これが原発マネーの闇を暴く最良の方法であると思う。」

17:13 ホームレス襲撃で4人死亡 「無差別な犯行」か

17:16 今週のランキング

17:29 台風19号が発生 3連休に接近か

17:32 即位パレードのリハーサル 都心の本番コースで実施

17:35 北「決裂」米「よい議論」米朝“すれ違い”の深層

17:37 香港で大規模「覆面デモ」政府に反発の意思示す

17:40 山梨女児不明から16日目 大規模捜索 打ち切り

17:41 ATMコーナーでいきなり… 女性殴られ現金奪われる

17:44 災害情報を様々な言語で 五輪テスト大会で伝達実験

17:45 スポーツ

17:53 気象情報

17:55 米朝協議再開も 違いなぜ？

・ 後藤氏のスタジオコメント

「(Qなぜ今回、両国の言い分がこのように別れたのでしょうか。)政権幹部に取材したが、北朝鮮にトランプ大統領が足元を見られていると。先週の潜水艦発射型のミサイルに対して、トランプ大統領が非難ではなく、見逃すという対応をした。これによって、北朝鮮が非常に強気に出た。象徴的に言えることは北朝鮮が席を立つ、それに対して米国がちょっと待ってくれと。ここで前回のハノイの米朝首脳会談とは全く立場が逆転してしまい、これによって結論が伸びてしまうと日本政府にとって非常に痛手である。1つはこの間に北朝鮮がどんどんミサイルの発射実験を繰り返す可能性があり、逆に米朝で話が進んでしまうと日本が置き去りにされてしまう。日本政府関係者の中にはそろそろトランプ大統領に安倍総理がしっかりと今回の北朝鮮のいろんな対応に釘を刺す時期がきているのではないかと、それを伝えてもらいたいと。」

(Q. 本当にここまで米国任せでどうなのかと思いますよね。)とりわけトランプ大統領が大統領選を控え、結論、成果を出したいと思えば思うほど、北朝鮮のペースにはまってしまう。そして来年の東京五輪を控えて、一転して平和外交に転じてくるかもしれないという見方をする政府関係者もいる。」

以上

12月20日(金)～22日(日)夜の報道番組の概要

令和元年 12月 23日

内閣広報室

担当：山村・樺山

12/20(金)

■テレビ朝日「報道ステーション」(21:54～)

<放送内容>

21:54 オープニング

21:55 “先輩”と“後輩”の間で情報漏洩 総務事務次官 事実上の“更迭”

- ・ 弁護士・野村修也氏のスタジオコメント

「(Q. 個人的な関係があったから、やはりこういった問題につながってしまったんでしょうか。)そうは言っても、とても許されない行為である。もしかすると、行政処分手心を加えたのではないかと見られてしまう可能性もあり、受け手の日本郵政にしてみれば、早めに中身が分かれば、それに対し、例えば証拠を隠したり、口裏を合わせたり、さらに言えばダメージを最小化するためにあらすじを作ってしまったということもできてしまうため、絶対にやってはならない行為であったといえる。なぜ起こってしまったのかというと、総務省は旧自治省と旧郵政省、旧総務庁からなっている役所であるが、実は横のつながりがあまり強くない。その結果、反動的に旧省庁毎の縦の繋がりが非常に強いという性質を持っている。そういった意味で、どうしても先輩、後輩ということが影響してしまったということがいえると思う。まさに天下りの弊害が出たということであるが、そうであれば今後は郵政側の人事が、これでいいのかということが検討されていくことになるのではないかとこの気はする。」

22:05 宇宙船「スターライナー」打ち上げ 宇宙を舞台に新たな“覇権”争い

22:11 “過去最大”102兆円を閣議決定 来年度予算案 膨らむ社会保障費

- ・ 野村氏のスタジオコメント

「(Q. 少子高齢化がどんどん進む中で社会保障費の問題ですが、時間が経てば経つほど、本当に深刻になっていく問題ですよね。)やはり低所得の方々に対する配慮は必要だと思うが、社会保障費が増大する分だけ何らかの形の痛みというもの共有していかなければならないということはいえると思う。そうなったときに、今回どうも先送りになってしまった感が強い面がたくさんある。例えば医療費について、元々は受診をする際に一人100円ぐらいずつ負担するワンコインという制度を提唱していた。この場合はある程度の財政収入があり、広く薄くとなるため、負担感が少ない。さらに言うと、無駄な治療を受けなくなってくるというメリットもあると言われていたが、医師会が強く反対したこともあり、先送りになってしまった。今回、その代わりに75歳以上の医療費負担を2割にするという

ことで、この部分については所得によって、負担できる人に大分の負担をということになったが、所得の部分がどのぐらいの金額なのかがまったく決まらないまま、先に送ってしまった。さらに年金の問題などでは、パートタイマーで働いている方々が厚生年金に入れない状況が続いているため、それを入れるようにするためには事業所の適応範囲を広げていかなければならないが、そうすると、どうしても中小企業の負担が増えてしまうということもあり、この時期もずいぶんと先送りされてしまった。これはやはり政治家から見ると、選挙を控えるとどうしても痛みを分かち合ってもらうことが難しい。しかし、これはどこの政党が政権をとっても、同じ課題に直面することになるため、ここは与野党合わせて日本の国の将来のことを議論してほしいと思う。」

- 22:19 建物内で“札束”入りケース発見 東京・青梅市“資産家”殺人事件
- 22:24 “オープン直後”店を襲った濁流 台風で被災 ラーメン店の“2ヵ月”
- 22:34 現在も500人以上が避難所生活 相次いだ台風 被災地の今
- 22:40 自衛隊中東派遣に理解求める 日イラン首脳会談
- 22:41 実刑判決の元次官が異例の釈放 長男殺害の罪で懲役6年
- 22:42 韓国向け輸出管理で一部見直し 経産省が発表 7月以降初めて
- 22:45 気象情報
- 22:50 スポーツ
- 23:05 【速報】「スターライナー」エンジンに不具合

■TBS「NEWS 23」(23:30～)

<放送内容>

- 23:30 ラップバトル 高1男子が川に飛び込み死亡…何が?
- 23:36 かんぽ問題 官僚トップを異例の更迭

・星浩アンカーのスタジオコメント

「(Q. 更迭されるということですのでけれども、これで終わりでいいのか、法に触れることはないでしょうか。) 極めて悪質な事例だと思う。国家公務員法には守秘義務というのがあるから、その守秘義務に違反することは明らかである。それも事務次官が守秘義務違反をしたということなので、非常に問題だと思う。この漏らした鈴木前次官も受け取った鈴木副社長も郵政畑出身の官僚である。『郵政一家』ということで癒着をして重要な情報を漏らしたということだと思う。郵政を監督するのは総務省だけれども、監督官庁がこういう状況では郵政のさまざまな不正をどうやって監督指導してくのか。まったく困ったことだし、非常に深刻な問題と受け止めるべきだと思う。」

- 23:41 中東に自衛隊 イラン首脳来日“板挟み派遣”に理解は
- 23:48 I R計画の中国企業…秋元議員側に現金か
- 23:51 長男殺害 元官僚トップが保釈
- 23:52 膨らむ予算 100兆円超8年連続で過去最高

23:56 スポーツ

00:09 マカオ返還 20 年「一国二制度」統治は

00:09 韓国向け輸出管理「一部見直し」

00:10 視力「1.0」未満の子ども過去最多

00:12 天気

00:13 エンディング

12/22(日)

■TBS「サンデーモーニング」(8:00~)

<放送内容>

8:00 “情報漏えい” 総務次官更迭 かんぽ不正 経営陣の責任は？

・ 寺島実郎氏のスタジオコメント

「この問題全体の本質を2点だけ申し上げておきたいが、一つは我々自身も小泉改革で郵政改革だ、これが本丸だというような形で大騒ぎした。結果郵政民営化をやってみて行き着いたところは、本当は全国の地域における郵便局の役割を思い出してもらいたいけれども、地域社会の安定装置みたいな部分があったのが、会社になったために儲けなければいけなくなった。とにかく不正をしてでも売り込めみたいになり、この問題に帰結したという点を僕らはよく見る必要がある。もう一点は、数字を見てびっくりする人もいるが、まだ政府が57%日本郵政の株を持っている、つまり筆頭株主は政府で、ほとんど公共事業、公的事業みたいな形で日本郵政はなっている。2007年に民営化が進んだとき、100%株式は売却するということになっていたのを2012年に改正ということで変えた。だから政府がまだ6割近く持っているという会社なので、総務省が影響力を持っていて監督官庁みたいな形になっている。この二重のねじれが起こっている構図で、この問題が起こっているんだということを我々は知っておかなければならない。」

・ エッセイスト・犬山紙子氏のスタジオコメント

「私が感じたのは『強烈な縦』ということで、この先輩後輩のハラスメント気質のある縦の関わり合いが、このかんぽ不正の方もそうだけれども全てにおいて見られていて、このような中では、より良い仕事はできないと思う。この調査報告では、朝礼で『お前は寄生虫だ』みたいなことを言われるとか、そこまで追い詰められたら(不正を)やってしまうよねというのは、少し私も思ってしまう。だからもうのびのびと仕事もできない、そのような中でどんどんこうした不正が生まれている。これがトップにもこの縦があったのかということで信じられないという気持ちだ。」

・ ジャーナリスト・青木理氏のスタジオコメント

「皆さん押し並べて言うと、なんでこんなに失礼ながら質の悪い人が次官になっていたんだろうかということだ。郵政副社長の方の鈴木氏だが、NHKをあ

る種恫喝して暴力団だと言った。あろうことか総務省は皆さんご存知の通り放送行政を統括している。その権限を持っていた人が、NHKに恫喝をかけて、NHKも残念ながら詫言状を持って行った。そのNHKに対して言った話が、取材手法が暴力団だというけれども、あえて申し上げるが、皮肉だけれども1万件以上もお年寄りを騙すような契約があったというのであれば、かんぽ生命の方が余程反社会的な詐欺集団、日本最大の詐欺集団というところがある。だからそういうようなことを顧みずに、自分が放送行政を統括していた立場なのに恫喝している。NHKが放送した時点で改めていけば騙されなかった人はかなりいたはずである。だからNHKはメディアとしての役割を果たしたのに、放送行政を統括する立場で圧力をかけたという問題。もう少し考えなければならぬのは、裏にあるのは、この間中央省庁でもものすごい不祥事が続いている。財務省では公文書の改ざんだったりとか、防衛省ではPKO日報問題だったりとか、文科省では汚職だったり。それぞれたぶん発生の原因は違うけれども、トータルで言うとやはり政権の意向に合わせて公文書を改ざんしたりとか、政権が人事をものすごくグリップするものだから、政権のお気に入りみたいな人たちがどんどん上に来て、こういう人たちが各省庁のトップに来ている。その歪みというか膿みがここにきて次々に出てきているという面があるのではないかというあたりは、僕は疑問を持っているし、少しその辺はメディアが突っ込まないといけないところだと思う。(関口：なんだか腐ってるねという感じがしてしまいました。)

8:19 首相補佐官に公私混同疑惑 I R誘致めぐり政治家に現金？

・ 荻上チキ氏のスタジオコメント

「こうした次々と問題が出てくると、先の大臣が二人連続で辞めたことも含めて、国会でしっかりと追求しなくてはいけないと思う。ただ桜を見る会の追求の際、野党側は国会の延長を申し入れたし、また予算委員会などを開いてしっかりと追及しようということになったが、数の優位を持っている与党の側がそれを拒否することで、追及ができなくなった。また年をまたぐと、こうした問題は忘れられがちになってしまうけれども、こうした疑惑があまりに続いている。これは与党も野党も様々な問題というものを抱えている。立憲民主党の初鹿議員のハラスメント問題もそうだし、与党野党で他にも様々な問題というものがある。そうした政治の方の態度というものをいかに改めるか。これは単なる道徳の話だけではなくて、具体的に例えば公文書の管理をどうするかとか、あるいは調査要請に対してどういうふうにするのかとか、そうした合意というものをしっかりとベースからつくりなおすということが必要で、そのための国会に1年間充ててもおかしくないようなことが次々と出ている。だからそこに本気で取り組むかどうかということを、私たちは見て判断しなくてはいけないと思う。」

・ 青木理氏のスタジオコメント

「東京地検特捜部が久しぶりに政界の一端に切り込んだ。日産のカルロス・ゴーン元会長などでかなり最近特捜部はいろいろやっているけれども、その政官財の政の部分ではなかなかやれなかった。今の特捜部長はかなりやる気のある方で切り込んだ。これについては評価したほうがいいと思う。ただしこれ、どこまで行けるのか。どうもやっぱり贈収賄まで伸ばしたいと特捜部は思っているようだけれども、これを一定程度評価しつつも、しかし本当にやるべきことというのは他にもあるのではないかというふうに、おそらく多くの方が思っている。例えば少し前だけれども、大臣室でどうも現金の授受があったのではという大臣もいた。まあ辞めたけれども、それは刑事事件になっていない。それから財務省の公文書改ざんはなぜ事件にしてもらえないのか。それから今回の桜を見る会だって、例えばホテルに特捜部の強制捜査が入れば明細書なり何なり出てくる。そうするとそこに使途が明らかになるという面があるわけで、本当にやるべきところというのをやらないで、政界捜査をやってますと言われると、僕らはそうだろうか、もっとちゃんとやることあるだろうというあたり。人事に関しては先ほど官僚の話をしたけれども、どうも法務検察もその辺で少し握られて、政権官邸に対する付度が起きているのではないかというあたりは、ちょっと申し上げておきたいと思う。」

8:29 北朝鮮との非核化交渉は？ トランプ大統領弾劾訴追

8:39 スポーツ

9:17 一週間振り返り

9:32 天気

9:35 風を読む “今年の景気は…”

※ 今年1年の景気と経済をVTRで振り返り後、スタジオトーク

・ 寺島実郎氏のスタジオコメント

「（関口：一部の人にはいいんだろうけど、どういろんな人に聞いても全体がいいとは感じない。その辺りどうでしょう。）これは間違いなくそうで、年初から2割日経平均は上がっている。だけど実体経済は、実質GDPは1%前後をさまよっている。なぜ株は上がっているのか、公的資金を突っ込んでいるからである。日銀が日本の株式の保有のトップになっている、31兆円。つまり公的資金、GPIF、年金といわゆる中央銀行の金を突っ込んで株を上げている。だから幻覚症状の中にある。つまり景気が良いような、うまくいっているような症候群の中に我々自身がいる。大事なものは国民が潤っているかどうかである。経済の言葉の語源は『経世済民』、それを忘れてはいけないと思う。」

・ 荻上チキ氏のスタジオコメント

「脱デフレを掲げたけれども、まだまだ金融政策は成功していない。それから財政政策なども非常に中途半端な状況がある。一方で雇用が増えたという話を政権は強調するけれども、雇用の質の改善も進んでいない、プラスやはり給料というものを上げていくということが必要になってくる。こうした一貫性のあ

る政策ということをして本来は最初からやるべきだったのが、例えば消費税を上げるとか、いろいろちぐはぐな状況が続いているので、長期政権だから出来ることというのが本来あったにもかかわらず、それをスポイルしてしまった側面がある。そのあたりはネジを巻いてほしいなというふうに思う。」

■テレビ朝日「サンデーステーション」(16:30～)

<放送内容>

16:30 オープニング

16:31 住人の60代男を逮捕 東京・町田でアパート火災

16:34 カジノ誘致への影響は 横浜・反対集会に2000人

16:35 秋元議員に単独取材 中国企業との疑惑に「反論」

- ・ 秋元司衆議院議員への電話取材(VTRにて)

「(Q. 日本人男性との関係は。)直接的には面識はなかったが、2017年8月のシンポジウムで初めて秘書から紹介された。

(Q. 日本人男性は資金移動に関与した疑いがもたれているが、思い当たる点は。)全くありません。

(Q. 一昨年12月に中国・深圳でIR事業参入を目指す中国企業のトップと面会した理由について。)もともと中国・深圳にIT企業が乱立している話を聞いていたため、中国・深圳に視察に行こうと、(この中国企業にも)じゃあ行ってこようと立ち寄った、

(Q. 公務としての訪問されたのでしょうか。)政務として、行っている。

(Q. 中国企業は日本に進出したいという意向なのか。)将来的に考えたい、投資も考えたいということは言っていた。

(Q. それに対し、秋元氏はどういうふうに応じられましたか。)頑張ってくださいの一言ですね。他の会社いろいろな所も私は複数回会っていますよ。米国のカジノ業者の方が頻繁に会っています。」

- ・ テレビ朝日外務部デスク・山下達也氏のスタジオコメント

「今回の背景には2つあると思うが、中国ではこの企業が手掛けていたのもあるが、オンラインの宝くじが非常に大きく、最大6兆円の規模を持っていた。しかし、2015年に中国国内での規制強化で全面禁止となり、これは習近平政権の腐敗防止の一環とも言われている。それで海外に活路を見い出さざるを得なくなった。一方でこの10年、訪日する中国人が急増している。とりわけ、この3年は中国では日本が行きたい国のトップになっている。主に今回の舞台の北海道は非常に人気があり、訪日中国人も当て込んで中国企業が進出しようとしたと。特に中国のオンライン企業は規模が大きいため、進出の流れは今後も続くと考えていいと思う。」

16:48 東京・文京区 マンション火災 72歳女性死亡 高齢の兄妹重体

16:49 静岡・住宅火災1人死亡 93歳男性か 家族2人けが

16:50 金正恩氏 軍幹部集め… 年末に向け「武力強化」
16:50 北九州市 男性刺され死亡 逃走の男を緊急逮捕
16:54 ニュース読みくらべ おせちに“異変” 浮上したナゾ
17:01 千葉でキョン大量発生 驚異の繁殖力で4万頭
17:13 今週のランキング
17:25 イチロー杯 今年で終了 子どもたちへ“贈る言葉”
17:32 北朝鮮 きょう 労働者送還期限 ブローカー語る“抜け道”
17:36 辺野古移設工事に遅れ 普天間返還 2030 年代か
17:37 東京・文京区でコンビニ強盗 犯人は逃走中
17:40 あさって日中韓首脳会談 中国・成都は厳戒態勢
17:44 「スターライナー」帰還へ 軌道に到達できず実験失敗
17:45 スポーツ
17:50 中国“パンダの楽園” シャンシャンもこの地へ？
17:53 今年最後の“大一番”？ あさって日韓首脳会談

・ 山下氏のスタジオコメント

「(Q. 今回何かしら進展はあるのでしょうか。)非常に厳しいと思う。政権幹部に聞いてみたが、今回成果は期待できないと。また安倍総理は何も譲るつもりはないとしている。さらに一つ不満があり、文大統領はカトリックのため、24日のクリスマスイブを韓国で過ごしたいということですのですぐに帰る。安倍総理は25日までいる。そのため、個別会談の設定の時間が非常にタイトになっており、日本側は文大統領があまり突っ込んで話す気がないのではないかと見ている。外務省の幹部は、今回会談をしないのは不自然であると、そしてGSOMIAを延長したため、最低限の信頼関係はあるとしている。複数の首脳が集まる場合に、個別で会談しないと非常にまずい。つまり日韓関係は最悪で改善するつもりもないというメッセージになってしまうため、ここは避けるということである。そうしなければ、仲介役である米国も失望するということになってしまうため、どれだけいつもの主張プラスアルファの話を両首脳ができるかが焦点になると思う。」

17:55 気象情報

以上

1月17日(金)～19日(日)夜の報道番組の概要

令和2年 1月 20 日

内 閣 広 報 室

担当：山村・樺山

1/17(金)

■テレビ朝日「報道ステーション」(21:54～)

<放送内容>

21:54 オープニング

21:55 富士五湖で最大20cm降雪か 東京23区で今季初の積雪も

22:05 記憶と継承を“刻む”灯り 阪神淡路大震災から25年

22:11 地震と火山の“危険性”が争点 伊方原発3号機“運転認めず”

・ 弁護士・野村修也氏のスタジオコメント

「(Q. 今回の運転差し止めの判断のポイントはどこにあるんでしょうか。)四国電力は不服を申し立てると言っているため、別の裁判長が別の判断をする可能性はあるが、今日の段階での最大のポイントは、やはり活断層についての調査が十分ではないということと、さらには火山の影響を過小評価しているということが差し止めの原因にされたということである。これは福島原発の事故は地震が直接の原因ではなく、津波が原因であったという整理になっており、地震のことがやや過小評価されているのではないかという面が浮き彫りになったということであると思う。福島原発の最大の要因は、何といても想定外を作らないということであり、こういう形で今日仮処分が出たということを受けて、四国電力として調査が不十分だと言われたのであれば、そこはしっかりと調査し、安全性を示していくことによって、再稼働につなげるような道筋を示していくことが必要であり、規制委員会としてもそれがしっかりとした調査なのかを、もう一度チェックすることが必要ではないかと思う。」

22:19 日本初…地球史に“千葉時代” 「チバニアン」国際学会が認定

22:27 防衛大臣「武力紛争の危険なし」 “中東派遣”めぐり閉会中審査

・ 野村氏のスタジオコメント

「(Q. 本来ならば派遣を決定する前に、議論なされるべきでしたね。)今回はとりあえず、急ぎ調査・研究が必要な状況になっており、今のところは危険がないという判断の下で派遣するということであると思うが、いつ何時、何が起こるか分からないため、やはり議論は避けるべきではない。できることならば今のような議論をしっかりと事前にやっておくべきであったと思う。例えば、本日は海上警備行動になるような事態の話だけであったが、実際に武力衝突が起これば、ホルムズ海峡に機雷を撒かれるような事態が起こる。その時には、今回派遣している任務とは全く違うため、改めて自衛隊をどうするのかという議論をしなければ

ばならない。その時に自衛隊を出さないという選択肢もあるし、行ったとしても他国が機雷を除去する行為を後方から支援するというやり方に留めるという場合もある。選択肢はいろいろあるが、実は安保法制を検討したときに議論されていた存立危機事態や重要影響事態といわれているものが、どういう意味なのかをしっかりと詰めなければ、何ができて、何ができないのかがはっきりしない。そういうことを、今のうちにしっかりと議論を進めていくことが大事であると思う。やはり調査・研究という点はいまいであり、法律上の根拠が必要であるといえると思う。野党は特別措置法のようなことも言っているが、自衛隊が普段領域内で行っている警戒や監視も、実は法的な根拠ははっきりしていない。そのため、それも含め、自衛隊が正規に行っている業務の中で警戒・監視を自衛隊法の中でどう位置付けていくのかも、しっかりと議論していくことが必要であると思う。」

22:36 「桜を見る会」で内閣府幹部を処分 推薦者名簿を“加工”

22:37 タイで2人目の発症者 新型コロナウイルス

22:40 「嘘つき呼ばわり」と言い争い 米大統領選 民主党候補2人が…

22:41 「まいにち防災」スタート 過去の災害から学ぶ

22:45 スポーツ

23:00 気象情報

23:03 箱根 このあと雪ピーク 10cm 降雪か 東京 23 区で今季初の積雪も

■TBS「NEWS 23」(23:30～)

<放送内容>

23:45 オープニング (ゲスト:ジャーナリスト・田原総一朗氏)

23:46 あすセンター試験 都心でも積雪の可能性影響は?

23:50 中東派遣 それでも派遣 緊迫前の決定に問題は

・ ジャーナリスト・田原総一朗氏のスタジオコメント

「危険だからこそ行くのでしょ。危険でなかったら行く必要がない。例えば日本の石油タンカーがどこかの国、どこかの勢力から狙われた、やられそうになった時に、さあ自衛隊どうするのかと。河野氏はそんなことないと言うが、なかったら行く必要がない。危険性がある場合に行くのだから、及んだときにどうするのか。(小川:対処する術がないということですか) いや、あると思う。僕はそのときに相手の勢力を自衛隊は攻撃すると思う。攻撃したらそれは自衛隊法違反だから、要するに現場の指揮者が処分される。日本の安全保障問題は矛盾だらけで、だから河野氏はいいい加減なことを言っている。要するに河野氏の本音は、その時は現場で自衛隊法違反をやって、現場の指揮者が処分されればそれでいいと思っ

ていて無責任だ。野党も反対だけでなくもっと追及しないと。」

23:55 金曜＝第三惑星 政治危機の時代に 小川彩佳×田原総一朗さん

小川彩佳・キャスター「田原さんは安倍総理に厳しい立場でいらっしゃるのですが、実は第二次安倍政権になって以降、表に出ているだけでも12回も総理官邸や公邸

を訪れていて、よく会われているみたいですね。」

田原総一郎・ジャーナリスト「言いたいことがあるときに行って言う。(小川：去年も何回もあわれたんですか。) 例えば一昨年の夏、安倍総理には言った。なぜか。一昨年トランプ大統領が北朝鮮は悪魔の国だと、今にも武力攻撃しようとした。もしアメリカが武力攻撃をしたら、北朝鮮は韓国・日本に攻撃をしかけてくる。戦争になったらどうするんだと聞いたら(安倍総理は) 困ると(言った)。困るのは分かっている。じゃあどうするのかと聞いたら、田原さん、どうすればいいと言った。つまり自民党の幹部たちも閣僚たちも何も考えていない。安倍総理にゴマ擦ることしか考えていない、酷いものだ。だから安倍総理に言ったのは、トランプ氏と自由に話ができるのは日本の政治家であなただけじゃない。だからなるべく早くアメリカへ行ってトランプ氏を口説けと。口説いてどうするかというと、北朝鮮がどういう条件を飲めばテーブルにつくのか、つまり米朝首脳会談、どういう条件を飲めばテーブルにつくのか口説けと。で、もし条件を出したら、直ちに北朝鮮に飛んで金正恩にアメリカがこういう条件ならテーブルにつくと言ったら、多分飲むと思うと。(安倍総理は) そういうことを言うてくるのは田原さんじゃないと。誰も言わない。」

小川彩佳・キャスター「そういう状況なんですね。」

田原総一郎・ジャーナリスト「本当に今の自民党は酷いもので、内閣も誰もこの国をどう進めればいいのか何をしていけばいいか考えていない。(小川：総理にもそれを言えないと) うん、つまり安倍総理のゴマを擦ることしか考えていない。」

小川彩佳・キャスター「安倍総理ってどういう方ですか。」

田原総一郎・ジャーナリスト「割に素直な男で、いうことよく聞きますよ。(小川：そうなんですか。) みんな安倍総理にゴマ擦っているから、例えば幹事長が4選があるとか、財務大臣も言っているよね。そんなのはバカバカしい、ゴマスリなんだよ。」

小川彩佳・キャスター「その辺りも後ほど伺いますが、その安倍政権は長期政権、歴代 最長政権となっていますが、これを下支えしているのが支持率でもありますよね。これ 2018 年の 10 月からの推移ですけれども、ほぼ 5 割前後をキープし続けているという支持率なわけで、ただまあ国内政治を見てみますと、桜を見る会だったり不祥事だったり色々ありますよね。」

田原総一郎・ジャーナリスト「だから桜を見る会なんて酷いもので、あんなものは普通なら安倍内閣はもう終わりだよ。だって政府の言っているのは、桜を見る会に招待する人というのは、皇族とか旧皇族とか、あるいは大臣とか、あるいは地方自治体の首長とか、あるいは政府に大きな貢献をした人とか、約 1 万人。(小川：功績があった方というルールがあったわけですね。) ところが第二次安倍内閣になってこの招待客どんどん増えて去年は 1 万 8200 人、しかもその多くが安倍総理や自民党議員の後援会、言われている人と全く関係ない、こういう人をどんどん呼んで、しかもその金は税金なんだよ。どうみたって税金の私物化だよ。」

小川彩佳・キャスター「これを有権者の皆さんはどう思っているのか、VTRをこちらご覧ください。」

(VTR後)

小川彩佳・キャスター「田原さんのような怒りを覚えていらっしゃらない方もこうしているわけですね。」

田原総一郎・ジャーナリスト「国民の多くは政治に関心持っていない。例えば隣の韓国だと、朴槿恵氏の時代に朴槿恵氏がこの場に話し合える女性のための財団つくっただけで連日 100 万人デモだよ。あれから見れば森友・加計問題なんてとんでもない話だ。ところが日本人はデモが起きない。」

小川彩佳・キャスター「関心がないのはどうしてなのでしょう。」

田原総一郎・ジャーナリスト「要するに韓国もアメリカもイギリスも与党と野党があつて、与党 がダメなら野党が政権でもいい。日本は野党がただ自民党に反対だけで、政権を取ろうとする野心も意欲もない。国民が安倍は酷い、自民党も良くないけど、代わるところがないじゃないかと諦めている。」

小川彩佳・キャスター「代わりがないがないと思っている。だから支持率が下がることなく…」

田原総一郎・ジャーナリスト「もっと枝野氏や玉木氏に頑張れよと、しっかりしろよと。こんなときになっても立憲民主党と国民民主党が一緒になるかどうかまだ迷っているでしょ。とんでもない。立憲も国民も共産党もみんな一緒になって、自民党と戦えと言っているんだけどね。」

小川彩佳・キャスター「なんでなかなか結集できないんですか。ずっと田原さんおっしゃっていましたけれど。」

田原総一郎・ジャーナリスト「今ひとつやる気がないんだよ。もっとこの番組でガンガン野党に頑張れと、枝野氏でも共産党の当事者を呼んで、何やってんだお前らと、もっとやってよ。」

小川彩佳・キャスター「でも結集する動きが出てはこうぐにやぐにやとなっていく…」

田原総一郎・ジャーナリスト「だからこの番組に呼んでガンガンやってよ。(小川：伺っていくことも必要なんじゃないですね。) ええ。」

小川彩佳・キャスター「そうした中で、野党の皆さんをみている中で、田原さんがこの方だったらもしかしたらこの政治に緊張感をもたらしてくれると期待をされる方というのはいらっしゃいますか。」

田原総一郎・ジャーナリスト「野党はどうも政権奪取の意欲がない。だかられいわ新選組の山本太郎なんか人気っていく。山本太郎氏は消費税をはじめゼロにしようと言っていた。野党は10%に反対と言っているだけだよ。野党はいったいどうするのか何も言わない。で、山本太郎氏が初めは消費税はゼロにとまった。その代わりに法人税や、あるいは収入の多い人の所得税を上げようと言った。で、国民は面白いじゃないかと。そういう対案らしいものを彼は初めて言い出したわけだよ。」

小川彩佳・キャスター「具体的な提案があったということですか。」

田原総一郎・ジャーナリスト「今の野党は全く具体的な提案がない。反対しているだけだ。」

小川彩佳・キャスター「ただなかなか、山本太郎氏が次政権を獲るのはいつになるのかというと、なかなか先が見えない…」

田原総一郎・ジャーナリスト「共産党は山本氏と組むよね。立憲の枝野氏や(国民の)玉木氏が組む気があるかどうか。」

小川彩佳・キャスター「安倍総理の次はどうなっていくんでしょうかね。」

田原総一郎・キャスター「そこが問題。かつての自民党なら、かつて野党が弱かった。でも自民党には反主流派・非主流派がいて、こんな桜の問題、その前の森友・加計問題なら、お前辞めると頑張る。だからその反主流派・非主流派にやられて、岸(信介)氏や田中角栄氏が辞めざるを得なかった。」

小川彩佳・キャスター「党内で政権交代がおきていく土壌があった。」

田原総一郎・ジャーナリスト「自民党の議員がみんななぜか安倍総理のイエスマンなんだよ。文句を言わない。」

小川彩佳・キャスター「それがずっとこの長期政権の間に出来上がってしまったと。」

田原総一郎・ジャーナリスト「これは安倍総理にも言った。国民の70%以上が森友・加計は問題だと言っている。自民党の議員たちも思っている。だけど誰か一人でもあのとき問題だと言った人がいるか。いないと。ということは、自民党の議員たちは、あなたのご機嫌とりばかりで、この国をどうすればいいか何をしなければいけないか考えていないんだよ。こんな無責任な野郎を相手にしていいのかと。」

(小川：自民党内も野党も困ったものですね、田原さん。) そうしたら安倍総理、しばらく考えて、本当は困ったことだと。」

小川彩佳・キャスター「安倍総理はこの現状を困ったことだと思っている、ご自身は思っていらっしゃるわけですね。」

00:09 阪神・淡路大震災 25 年 鎮魂の祈り

00:11 中国GDP 6.1%増 29 年ぶり低水準

00:11 参院選めぐり河井案里氏の秘書聴取

00:12 スポーツ

00:25 「桜を見る会」内閣府が元人事課長ら処分

00:25 高裁が伊方原発の運転差し止め

00:12 天気

00:13 エンディング

・ 田原総一郎氏のスタジオコメント

「(小川：桜を見る会の名簿をめぐって人事課長6人が処分されました。)内閣府の課長が処分されたけど、内閣府が勝手にやるわけがない。あんなのは官邸から言われたからに決まってるよ。(小川：官邸からの指示があったと)責任は当然官邸、政治家、菅官房長官や安倍総理にある。あんな課長を処分して終わりなんて

インチキだよ。来週星さん（星浩・アンカー）にどんどん言うように言ってもらってくれ。大問題、何も説明していない。この前の法務大臣夫妻（河井克行前法務大臣・河井案里参議院議員）なんて、説明したのを拒否しただけだ。あんな発言聞いて何とも思っていないことが問題。あんな元法務大臣なんて政治家の資格ないよ。」

1/19(日)

■TBS「サンデーモーニング」(8:00～)

<放送内容>

8:00 新型コロナウイルス 懸念される感染拡大

・ 毎日新聞論説委員・元村有希子氏の解説

「コロナウイルスに限らずウイルスというのは変異しやすい。例えば動物が動物に寄生して、動物の力を借りてウイルス。そういうところにヒトと一緒にいると、ヒトと動物の中で違うものになっていく。だから今回も市場の中に動物とヒトと一緒にいたという環境が疑われている。ただ正しく怖がるべきだと私は思う。一つは死亡率を比べると SARS は 9.6%、MARS は 34.4% の人が死亡したが、今のところ今回の新型肺炎、50 人か 1700 人か母数はわからないが、2 人しか死亡していない。だから死亡率としてはかなり低いので、そこまで心配する必要はないが、変異しやすい、それから飛行機に乗ってウイルスが拡散するということは心配した方がいい。大切なのは三つあり、一つは予防で、私達がインフルエンザにかからないように普段やっている手洗いやうがいをきちんとやること。それから症状が疑われたら病院にあらかじめ連絡をして受診をしたほうがいいと思う。病院も対処ができるので、中国に行って帰ってきたら熱が出ましたということを電話で告げた上で受信するということで、いたずらに広げることを防ぐことができる。さらに最後とても大事なものは、情報公開です。SARS の時に中国政府が最初情報を隠して拡散したということの反省を踏まえて、やはりどこで何人ぐらい発生しているかということ在全世界で共有して対処するということが何より大事なので、情報公開がこれからは重要になってくると思う。（関口：ということはこのコロナウイルスは元々自然界にはあったんですね。）自然界にというか、ウイルスはもともと誰か生き物に指定しないと生きていられないので、動物やヒトのどこかにいるということですね。（関口：それがこういう大騒ぎになっていくということは、時代の流れとともに何かそういうことが起こっているということですか。）昔は風土病で片付けられていたようなものが、飛行機によって世界中に広がって知られることになっているというふうに考えたほうがいいと思う。」

8:16 豪森林火災 29 人死亡 北海道を超える面積焼失

8:30 河井夫妻疑惑を語らず 広島地検が事務所を搜索

・ 福山大学客員教授・田中秀征氏のスタジオコメント

「内閣も党も説明責任を果たせということは言っている。私に言わせれば果たさなかったら離党勧告すべきだ。何かきちんした処分をしなかったらダラダラ行ってしまう。それとやはり内閣でも党でも上の方がとにかく説明責任を果たすという範を示さなければ。総理大臣がきちんとして示すことが大事だと思うし、党でも幹部の方がそういうことがあったら、そういう範を示していかなければ。何か知らないけれど、戦後政治史の中でこんなことありましたかね。何にも説明しないで2ヶ月間も雲隠れして国会出てこないって、そんなことは今までなかったというふうに思う。政治の劣化と言われても仕方がない。」

・ 法学者 大阪大学非常勤講師・谷口真由美氏のスタジオコメント

「国語的な意味で説明と責任の意味がわかっていないのではないかと思います。説明責任というと何か別のほうになっているのではないかと思います。すごく不思議なのは、河井夫妻にしても刑事事件になる前は雲隠れして、刑事事件になったら告発されているので捜査に影響が出てはいけないうえ、説明を差し控えますと言うけれども、捜査の支障の前に主権者に支障があるということが全然わかってない。政治がいったい何のためにあり、誰を向いてやらなければいけないかというのが理解できてないのなら、政治家にならなければいいのにと思う。」

・ ラジオパーソナリティ・荻上チキ氏のスタジオコメント

「河井夫妻は今おっしゃったように捜査に支障があるからコメントを控えるというふうに言っている。でも政治家が真実を国民に説明したところで捜査に支障は出ない。あの本音というのは、捜査機関に本当のことを伝えられてしまうと、自分たちが損になるから喋りたくないですということである。それをあたかも捜査機関のことを配慮していますというポーズをとることによって、致し方ないでしょうというようなことを言う。こうしたある種建前的な言葉というものを、元の意味を大きく捻じ曲げてまで使って発言機会をなるべく減らすということは、実はこのお二人だけではなくて、この内閣そのものがこれまで様々な疑惑のために行ってきた。ただそうした一つの問題というのを見逃してきたから、その後も次々と似たような問題が出た時に、言い逃れをするという、そういったむしろ範を示してしまったということになる。なので、説明責任という言葉を使って、何かこれからやりますというような発言というものが信用ができないような状況になってしまっている。だからしっかりと国会で具体的に集中審議をやりますとか、検証委員会作りますとか、党から一か月以内に説明しなければ離党勧告しますとか、そうした期限と具体的なものを言うということを、むしろ永田町には習慣づけてほしいと思う。」

・ 青木理氏のスタジオコメント

「要するに与党にこれだけ力を与えたらこうなるということである。やはり与党と野党がそれなりに拮抗していればこんなことは許されないけれども、ただ皆さんおっしゃったけれど、これ説明しないのを僕は理解できますよ。二つあ

って、一つは政権の主が森友・加計、桜を見る会に丁寧に謙虚に説明しますと言って何一つ説明しない。でも騒ぎが収まってくるとだんだん支持率が回復してきてなかったことになっちゃうという成功体験を見ていけば、俺もそういうふうやっていけばいいよねというふうになる。それからもう一つは、これ説明できないんですよ。なぜなら説明をちゃんとしたら、何らかの違法行為に引っかかっているから説明ができない。ここでキーになってくるのは、説明をして違法行為になってくるのであれば、本来であれば検察なりが何らかの形でちゃんと捜査をして、解明をして、必要な処分をしないとイケないけれども、どうも検察もこの何年間か、ちょっとこの前にはIR疑惑で動いたけれども、基本的にこれはやるべきじゃないかという案件で動かないというようなことが続いていると、要するに検察も動かないんだから、うまくごまかして時間過ぎてしまえばいつかみんな忘れるでしょということである。そういう政治家は他にもいっぱいいる。つまり二つですよ。政権の主がきちんと説明を果たすこと、それからもう一つは検察当局のようなところが、あんまり検察がバンバン捜査やる国というのはあまりいい国だとは思わないけれども、やるべき捜査をきちんとやるということ。この二つがないということとは続く。」

8:41 スポーツ

9:13 一週間振り返り

9:32 天気

9:34 風を読む “2020年、世界のリスク”

- ・ 日本総合研究所会長・寺島実郎氏のVTRコメント

「今年は2020年東京オリンピックということで、ともすると我々自身が日本は結構よくやっているんじゃないかという『いいんじゃないかシンドローム』みたいな中にどんどん引きずられてくるというか、このことがむしろ一番危険だ。経済のリスクについて言えば、アベノミクスの限界がもう明らかに見えてきている。なぜこれだけ株が高いのかというと、公的資金を突っ込んでいっていることがある。世界の様々なリスクというのが噴出した時に金融不安が起こり始めたら、日本の抱え込んでいる金融だけが肥大化して実体経済が動かない、というこのギャップが大変大きなリスクになってくる。台湾が（反中国の）蔡英文総統再選ということで、中国との間にある種の緊張感が高まる。台湾にアメリカの基地は一切ない。だから米軍基地ということになると、沖縄がこの問題に対して正面から向き合うことになる。いやでも日本人がこれに巻き込まれていく可能性があるということを、我々は心しておかなければいけない。」

- ・ 元村有希子氏のスタジオコメント

「科学技術、環境の分野でいうと、リスクというのはあるということがわかった時点で半分ぐらい成功なんですよ。つまりここでこういうことが起きうということが分かれば、そこから対策をとればいい。だから今後の動きが大切になるけれども、人々がリスクに対して向き合う態度というのは三つあり、一つ

は積極的に取り組んでリスクを減らしていく努力をする。もう一つは先送りする。三つ目が見て見ぬふりをする。見て見ぬふりをするというのは一番子孫にツケを残すので良くないと思うけれども、もう一つはやはり、リスクがあると思っていたら、先送りできそうだけど今やるというのも実はすごく大切なことである。みんながわかっていることなら、解は見つかるはずだと思う。」

・ 荻上チキ氏のスタジオコメント

「リスクに対応する仕方は、元村さんがおっしゃったようにいくつかあるという話がある。でも実は今ものすごく顕在化しているのは、見て見ぬふりする以上に、その問題は実は存在しないんだと否定することである。トランプ氏が例えば気候危機は存在しないとしたり、あるいは公文書管理の問題が噴出した時に森友学園問題はフェイクだということにしたい人たちもたくさんいたし、桜を見る会なんて本当につまらない問題だということにしたい人たちもたくさんいた。でもこういうふうに実際に起こっている問題というものを矮小化しなかったことにしたいというような力が働く中で、オリンピック・パラリンピックなどのメディアイベントが今年は様々やってくる。そうすると政治について話をする時間も減ると思う。こういうふうに具体的な問題について本当にすぐさま何かしらの議論をしなくてはいけないけれども、それは議論する必要がないものなんだというふうに否定するような力というの働く。それを許容する無関心というものがまたリスクを増大させるというところもある。だからメディア上で根強くこうした様々なリスクを一つずつ紹介し続けるということも、やはり重要な一年になるのではないかと思う。」

・ 青木理氏のスタジオコメント

「寺島さんがVTRの中で金融の問題と中国リスクの話をされた。(荻上)チキさんがおっしゃったように今年はオリンピックで浮かれモードになるんだろうけれど、他にもいっぱいあって、今日やったテーマでいうと、政治家が説明もしない、会見もしない、証拠も示さない、こんな政治は戦後なかったのではないかと(田中)秀征さんがおっしゃいましたけれど、そういう状況でしょう。公文書だって隠蔽して、廃棄をして、改ざんをして、果てはもう作らないというふうになっている。それから各省庁人事を政権に握られて忖度が広がって、この間だけでも財務省で公文書改ざん、厚労省でずさん統計、防衛省でイージス・アショアのデタラメ調査、文科省で幹部の収賄、総務省で情報漏洩。こんなに同時多発的に中央省庁で不祥事が起きたということも戦後ない。つまりどうもこの国の根本のところ、まさに寺島さんがおっしゃるように一見うまくやっているようだけれども、根本のところが腐ってきているんじゃないのというのに真剣に向き合わないと、僕は大変なことになると思う。」

■テレビ朝日「サンデーステーション」(16:30～)

<放送内容>

16:30 オープニング

16:31 “春節”控え流行拡大 武漢以外でも感染が

16:45 市営住宅9階から転落か 生後7カ月の乳児死亡

16:47 寝たきり86歳夫死亡か 夫婦2人暮らし 住宅全焼

16:48 仕事帰りに ひき逃げか 「会社の信用落ちると…」

16:49 住宅で77歳女性死亡 “遺棄”で53歳娘を逮捕

16:50 ウグイス嬢“日当3万円” 「声」が勝敗を左右?

17:00 “波乱の国会”あす幕開け 桜・IR・辞任閣僚…追及は

・ テレビ朝日前ワシントン支局長・山下達也氏のスタジオコメント

「(Q. ひどいなというふうにも思う状況で、与党はどういう対応をしていくのでしょうか。)政権幹部に聞くと、最も重要なのは明日の菅原前大臣の会見だという。明日の午前中に会見する予定だが、明日は国会開会で非常にばたばたした日でもあるため、しっかりと説明ができなければ、河井夫妻の問題と合わさり、さらに火が点くことになるだろう。

(Q. 菅原前大臣はなぜこのタイミングで会見してくるんでしょう。)今週の内に会見をするのではという憶測もあったが、明日になった。さらに政権幹部は、カジノを含むIR事件については、秋元議員がかなりのお金を講演料としてもらっており、個人の問題として、カジノの推進とは切り分けて対応したいと言っている。また『桜を見る会』の問題については、今月の各社の世論調査で支持率が回復したため、政府・与党からは『潮時かな』という声も出ているという状況である。」

17:02 ニュース読み比べ まるでSF “最新” お買い物事情

17:12 今週のランキング

17:25 ヘンリー夫妻 敬称返上へ 「15億円」豪華別荘を海から…

17:29 岡山 夫婦刺され妻死亡 逮捕の男「夫婦と面識」

17:35 最後のセンター試験 大きな混乱なく

17:35 日米安保 改定から60年 「同盟充実させる責任」

17:36 藤井聡太 七段(17) “レジェンド”に一步近づく

17:41 ゴーン被告の逃亡先 汚職蔓延で怒りの抗議

17:44 和歌山で大規模断水へ 3日間…8万人に影響

17:45 スポーツ

17:50 特等は東京五輪ペアチケット お年玉年賀状 当せん番号は

17:52 「妹とおいを恨んでいた」 “母子殺害”兄を再逮捕

17:53 犬への暴行動画…虐待か 通報相次ぎ警察が捜査

17:54 ロッテ創業者 重光武雄氏死去 日韓で幅広く事業展開

17:55 気象情報

以上

3月6日（金）夜の報道番組の概要

令和2年3月7日

内閣広報室

担当：山村・樺山

■テレビ朝日「報道ステーション」（21：54～）

<放送内容>

- 21:54 オープニング
- 21:55 下船乗客「陽性→陰性→再び陽性」 秋田と山梨で初の感染者
- 21:56 「なぜこのタイミングなんだ…」 中韓からの“入国制限”波紋広がる
- 21:58 牧場を消毒 勤務の女性が感染 ライブハウス来場者の感染止まらず…
- 22:00 “指定”病院の20代研修医も
- 22:02 ウイルス検査 きょうから保険適用
- 22:04 別のクルーズ船で21人に症状
- 22:05 ハンガリーで日本人15人隔離
- 22:06 “中国への配慮”政府は否定 中韓からの“入国制限”波紋広がる
- 22:12 韓国「ビザなし渡航」停止で対抗
- 22:15 待機場所 空港近くのホテルも
- 22:16 緊急事態宣言「慎重に抑制的に」
- 22:18 感染者受診の医療従事者も… ライブハウス訪問 8人が感染
- 22:20 政府は経済対策の検討を…

・弁護士・野村修也氏のスタジオコメント

「(Q. 経済への影響も非常に大きく出てきそうですね。)去年1年間で、中国から日本への観光客は959万人もおられ、その方々が日本で買い物をした金額は1兆5000億円を超えていると見られている。その一部が止まるということになれば、ホテルはもちろん、例えばお土産店なども大変なダメージを受ける可能性があると言える。何よりも、中国は何ととっても、日本の貿易相手国では最大の相手国である。特に日本のメーカーの中には、中国で作った部品を輸入し、製造しているところも多いため、生産ラインにも大きな影響が及ぶのではないかと思う。

(Q. 影響を最小限に食い止めるためにも、何かしらの対策が必要になってきますよね。)政府は金融庁を通じ、融資を円滑にするようにと依頼をしており、あるいは政府が保証することによって、お金を借りやすくしたり、あるいは緊急融資をしたり。さらにいえば、メーカーの中で部品を作っているところ

を日本に呼び戻すというところに補助金をつけるといったような案も今、示されている。さらに私たちの生活という点で見れば、減税が必要になってくる可能性があると思う。一部には消費税を減税すべきだという声もあるが、消費税だと所得の少ない方だと消費も少ないため、影響が限定的だということになる。それに対し、所得税の減税も、所得がなければ減税をしても意味がないということがある。実は給付付きの減税措置というものがあり、課税対象の所得がない人にはむしろお金を給付し、課税所得のある人には減税措置をするという仕組みもあるため、この際時限的ではあるが、そういったことも考えてみる必要があるのではないかと思う。

(Q. いろんな人を想定し、次々と手を打っていかねばならない事態であると。)特に一番所得が少なくて、困っている方がへの配慮が一番大事だというふうに思う。]

22:22 心の不安 取り除く支援の輪 “一斉休校” 子どもたちは今

22:32 精神科医に聞く「不安との向き合い方」 子どもや高齢者の心のケアは

・ 赤城病院院長 精神科医・関口秀文氏のスタジオコメント

「(Q. 先日はダイヤモンド・プリンセス号にも入って活動されたと。実際に隔離状態に置かれている方の心の問題や、健康状態を見て、どういう分析をされましたか。)今回、合計5日間活動していたが、対応していたのは60～80代の方が多かった。9日から入っていたが、その時点で薬が足りないなど不安を訴えられる方、また足りなくなったことで普通に起きえるような不安や不眠がさらに助長され、精神的な不調をきたす。それがひどくなっていくと、死にたくなってしまう、自暴自棄になってしまうという方も中には居て、そういう方の対応もしたりはした。

(Q. 実際そういうことを口にされる方がいるということですね。)中にはそういう方もいらっしゃるということである。

(Q. 隔離状態と休校をイコールに繋げることはできないが、環境が全く違う、なかなか外には行けないという、そういった環境下の中で、子どもは不安を感じたり、保護者も不安であったり、いろいろとあると思うが、先生によると子供が不安になったときには腹痛や頭痛など、行動となってサインに出ることがあるということですが、子どもは言葉でなく、行動に出るということですか。)通常でないような状態がこうやって続いたりしてしまうと、大人は精神的な症状を言語化して伝えることができるが、子どもたちはうまくできないため、身体的な症状については比較的分かりやすいし、訴えることができるが、言語化できない部分については、行動として現れることがあるのかなど。

(Q. パツとはサインを読み取りにくいかもしれないが。)赤ちゃん帰りや退

行と呼ばれる行動もあるが、震災などでもあったりしたが、遊びの中で『津波だ』と言って壊してしまったり、コロナだと消毒やコロナが付いていると言ったりしているところを、両親が耳にした時に、コロナで普段とは違うことを言っていると心配する両親もいるかもしれない。

(Q. 特異なことなのか。)基本的に通常出ない状況が続くと、生理的な反応として子ども達にとっては出得るということであり、これが起こるイコール病的な状態ではないが、通常では起こりえない反応が起こりえる。こういったことが病的に繋がらないために、行動をとっていくというところの話かなと思う。

(Q. 行動をとっていくということだが、心のケアとして日課や習慣をつくるというのは。)休校が始まったところであり、学校で普段勉強や友達同士でコミュニティを作り、遊んだりすることができなくなっているため、そういったところを家庭の中でどう取り入れていくか。日課や習慣を作っていくことが、非常に精神的な健康を維持する上では大事であり、何もしないということ非常に精神的に不調になりやすい。

(Q. 勉強への意欲をリードできない、先生の代わりをできないということはどうしたらいいかなと。)確かに学校は集団心理が働いているということもあり、そこが急に家庭に戻り、そこは一人になってしまうということもあり、学校と家庭で全く同じことはできないため、勉強に限らず、運動が得意な子は庭など、ある程度集団的ではない場所で、行動する。それを習慣化する。それをしっかりと評価してあげるということである。

(Q. 何が起きているのかを説明し、自分の力で守れるということを伝えると。)しっかりと説明するということは、まず子ども達のことを理解してあげるということも大切なかなと。今回、感染の不安などについてフォーカスしがちだが、子ども達が何の不安を感じ、何を心配しているのかを聞いてあげることも大切なかなと。友達と会えないことや、学校の勉強の遅れが不安など聞いてあげ、そういったところのケアをしてあげるといったところにつながると思う。『自分の力で守れる』ということを伝えるということとは、感染の不安を訴えていると、親はつい『コロナにかかったら大変なことになる』などと言いがちだが、それで不安や恐怖を感じてしまう。親も不安であるが、同じように不安な思いになってしまうため、子どもにうつることはよくないし、子どもが高齢者への伝播者になってしまうことも良くない。しっかりと子ども自身が感染の管理をすれば、祖父母へ感染させないことに繋がり、守ってあげられるということをして小学生だけでなく、中高生にも伝えあげるといった形が大事であると思う。

(Q. 重篤なりやすい高齢者の方々への心のケアも大事になってくるんです

かね。)災害で精神医療をやっていく中で、お子さんと同じように高齢者の方も災害弱者と呼ばれるように自分達で声を発信できないかったりしやすい存在なのかなと思っている。子ども達は親御さん達が注意深く見てくれたりすることはあるが、高齢者になると孤立化しやすいというところがあるため、それは地域の方で見えたり、家族の方が電話やチャットなどのツールでしっかりとコミュニケーションを継続していくことが大切だと思う。」

・ 野村修也氏のスタジオコメント

「スクールカウンセラーという制度があり、全国の学校の中で設置されているのは定期的に相談できる仕組みが整えられている中学校は多いが、高校だと約7割、小学校だと約5割しか整っていない。地域によっても、バラバラになっており、そういう相談できる場所がないという状況があるんだと思う。どうやって埋めていくのかというのは非常に大事であり、今であれば電話の窓口をこれから作ったり、あるいは無料アプリのようなものでチャットのような形で相談するというのも最近増えているため、そういった仕組みを今回のコロナウイルス対策として、一つ考えていく必要があるのではないかなという気はする。

(Q. どこに相談していいかわからない部分もあるため、自治体のホームページなどを見してみるのもいいかもしれない。)自治体の中には、心の相談の統一ダイヤルがあり、そこにかけると自分の住んでいる自治体の番号に繋がるようになっている。そういうところに相談してみるのも大事なのかなと。特に今、子どもの話になっていたが、やはり親の心のケアも非常に大事だと思う。

そういう点で、検討していくことが必要なのかなと思う。」

22:45 榎原敬之被告(50)を保釈 「深くおわび」頭下げ謝罪

22:48 気象情報

22:54 スポーツ

23:05 北海道「ライブバー」で感染者

■ TBS 「NEWS 23」(23:30~)

23:30 オープニング (ゲスト: 評論家・荻上チキ氏)

23:31 新着 韓国対抗措置 今月9日から邦人ビザ免除停止へ

23:34 入国規制 広がる混乱 効果に疑問の声

23:36 入国規制 野党は「後手」専門家会議に相談なし

・ 専門家会議委員 東京慈恵会医科大学教授・吉田正樹氏の電話取材コメント

「中国に関してはちょっと遅かったという気がする。新たな感染者が減少するということは、ある程度効果が出ていると思う。

(Q. この措置に関しては専門家会議には何か相談とかあったのでしょうか)

か。) 特にないですね。政治的な判断なので、専門家会議としてもっと入って来るのを止めたほうがいいという意見はあまりなかったと思う。」

23:39 入国規制 政治決断の背景 中国への配慮か

23:40 入国規制 政治決断の背景 保守系からの“突き上げ”も

・ VTR後のスタジオトーク (評論家・荻上チキ氏を交えて)

小川彩佳・キャスター「この規制に踏み切った政府ですけれども、なぜこのタイミングなのかについては、国会でもその政治的判断の根拠ですとか、これまでの措置と矛盾しているんじゃないかということも指摘されています。では安倍総理はどのように説明しているのかと言いますと、昨日新型コロナ対策本部でこのように説明しているんですね。『諸外国での感染が拡大する中で今が正念場である』と。水際対策についても『引き続き躊躇なく断行していく』そして『感染拡大を防止し、国民の不安感を解消するため』と、このように理由を挙げているんですけれども、チキさん、これ説得力はどうでしょうね」

評論家・荻上チキ氏「言葉は一個一個強いんですけれども、根拠であるとか、裏付けというのは不透明ですよ。今回が政治的判断と言われる背景の一つは、科学的判断ではないというところが大きいと思うんです。つまり誰の意見を聞いて、どんな専門家の意見を尊重して、どんな数字を踏まえて、今回の判断に至ったのかということを示すのが、通常の科学コミュニケーションだと思うんですが、今回は決断しましたと言われているんですけれども、こういうデータに基づいて決断しましたということが発表されていないんですね。これの問題点というのは、今後にも響いてくるんです。というのは、こういう状況を改善するために決断しましたというようなことを言えば、それが改善すれば、今の対応というのはなくなるんだと、まあ入国制限が解除されるんだと見込みが立つわけなんですけれども、どの数字に立ってそれを解除するのかという見通しが、今後立たなくなるわけですね。不安感を解消するためとあるんですけれども、多くの人達が持っている不安というのは、自分が病気になるかどうかという不安もさることながら、これがいつまで続くのか、経済や社会に対する影響はいつまで続くのかで、数字に基づいて対応したのであれば、出口はわかりやすいんですよ。感染者数がこれぐらいに減るなら解除しますということであれば見えてくるんです。根拠は示されていけば。ただ今回は、その根拠が示されていないので、その辺りの不安感というのが残ってしまう格好になりますね。

小川彩佳・キャスター「逆に増えてしまうかもしれないと。その根拠についてなんですけれども、先週土曜日の段階では、安倍総理はこのように述べていたんですね。中国からの入国規制措置について聞かれて、『感染者数の動向

等をしっかり分析し、必要があれば講じる』と。感染者数の動向とありますけれども、今どうなっているのか。中国で武漢がある湖北省以外の感染者数を見てみますと、減少しているフェーズなんですね。最近は5人だったり、17人だったり。こうした人たちが日本より少ないという話になっているわけですが、こういった数字がある中で、じゃあ今回の発表は何なんだろうというふうに思ってしまうところもあります。」

評論家・荻上チキ氏「ですので、この数字ではなく別の数字があるんだということであれば、それを政府は説明する必要がありますし、総理はそういったことを会見で、自らの口で説明することも必要になると思います。」

小川彩佳・キャスター「このタイミングということを考えると、習近平主席の訪日が延期になったタイミングと重なるということもありますけれども、その辺りはどうなのでしょう。」

評論家・荻上チキ氏「それがやはり政治判断なのではないかと言われる所以ですよね。様々に科学的な根拠があるので、その点について説明をしてくれるという部分が強ければ、政治的な面があつたとしても、今回の判断が妥当かどうか議論できるんですけども、そこをなんととっても示すということが、第一歩だったはずだと思います。」

小川彩佳・キャスター「一方韓国はこの措置に反発し日本へのビザ免除を停止しましたよね。協力してやっていきましょと、文在寅大統領とも歩調を合わせていたところに、このような状況になっていますけれども、最も良くない方向に進んでいるのかなというふうに思ってしまうんですけども。」

評論家・荻上チキ氏「そうですね、それぞれが政治的メンツを大事にして、それぞれの国民向けのアピールとして、こういった例えば入国制限などを使うということなのであれば、むしろ経済的影響というものの悪化が長引いてしまうということになるわけですね。むしろ今後は、新型コロナ対策、例えば物資を融通しあったり、ノウハウを融通しあったり、情報を提供しあったりという強力な政治が必要な中で、こういった意味では、幼稚なパイ投げみたいな、なんかそっちがやったからじゃあこっちもみたいなものが繰り返されてしまうと、やはり政治不信も高まってしまいますし、様々な科学的対応の根拠が脆弱になってしまうので、その辺りは冷静に対応してほしいなと思います。」

小川彩佳・キャスター「『根拠』というのがキーワードになってきましたけれども、根拠をめぐっては、突然の一斉休校の発表の後、先週土曜日に総理が会見を行いました。ちょっと改めてそちらをご覧ください。」

(VTR)安倍総理「私が決断した以上、私の責任において、様々な課題に万全の対応をとる決意であります。必要な措置は躊躇なく実施する考えであります。」

ます。」

小川彩佳・キャスター「(VTR後) 短くお伝えしたわけですが、コロナについて、このような会見で国民に直接語りかけるとするのは、この機会が初めての機会であったわけですが、この会見、どのようにお聞きになりましたか。」

評論家・荻上チキ氏「まずプロンプターと原稿を読み上げるという格好で、何か記者からの質問もですね、あのこれ総理が国会で自ら言っているわけですが、事前取りをした、段取りが決まっている記者からの質問しか答えずに、フリーランスの江川紹子さんなどが、まだ質問ありますよと言っているにもかかわらず、退席をするという状況だったので、一方的に言うだけだったら、これはビデオメッセージでも良かったんじゃないかなと、不要不急の会見だったんじゃないかと。そうと覚えてしまうんですね。ただこうやって表に出てきて説明すること自体はとても重要なので、なのであれば、その根拠であるとか、措置それについて、多くの人たちが関心を持っている中では、そこについてしっかりと記者たちの質問に答えて欲しかったなと思います。」

小川彩佳・キャスター「最後まで答えていただきたかったところですよ

23:47 速報 新型コロナ 国内感染 今日だけで56人

23:48 新型コロナ 突然収入ゼロに…フリーランス悲鳴

23:50 新型コロナ フリーランス悲鳴 政府補償も対象外

・ 荻上チキ氏のスタジオコメント

「(小川：こうしたフリーランスと呼ばれる方、300万人以上いらっしゃるんですね) そうですね、今回休校要請をした上で、それに対応した保護者の一部には上限付きで保証するということなんですけれども、でもそのさまざまな自粛要請というのは、実はイベント事業であるとか、いろんなものに対して、この間政府が発信しているので、あるいはその公平な政治を行うという点でも、フリーランスなど含めた幅広い人たちに対して、貸付ではなくて補償すべきだと思いますよ。これから経済的なショックが大きくなるということは想像できるので、今こそ大規模な財政を支出して、人々の生活を支えると同時に、これからの景気も立て直していきますよという、そういった強いメッセージを政府に発信してほしいと思います。(小川：政府や多様な働き方を推進してきたわけですから、ちゃんとセーフティネットを設けていただきたいと思いますよね。)」

23:56 埼玉4歳女児虐待死か 両親逮捕

23:57 野田虐待死 暴行次々に否定

23:57 スポーツ

00:10 速報 NY株また急落「コロナショック」

00:10 新型コロナ“PCR検査”保険適用始まる

00:12 天気

00:13 エンディング

・ 荻上チキ氏のスタジオコメント

「(Q. 今後もコロナへの政府の対応、しっかり見ていかなければならないですね。) 今、家で仕事をしてますという方も多いと思うんですけど、今の国会、ウェブなんかで動画で全部見れますので、そういったところもぜひ注目してほしいなと思うし、特に労働者に対する補償はどこまでされるのか、これは来週も重要な論点です。それから歴史的緊急事態というふうに宣言されると、これは公文書、関連する文書など全部厚労省として後世に残すということもできる。残さなければならぬので、そこを決断できるかどうかですね。」

以上

3月6日(金)～8日(日)夜の報道番組の概要

令和2年 3月 9日

内 閣 広 報 室

担当：山村・樺山

3/6(金)

■テレビ朝日「報道ステーション」(21:54～)

<放送内容>

21:54 オープニング

21:55 下船乗客「陽性→陰性→再び陽性」 秋田と山梨で初の感染者

21:56 「なぜこのタイミングなんだ…」 中韓からの“入国制限”波紋広がる

21:58 牧場を消毒 勤務の女性が感染 ライブハウス来場者の感染止まらず…

22:00 “指定”病院の20代研修医も

22:02 ウイルス検査 きょうから保険適用

22:04 別のクルーズ船で21人に症状

22:05 ハンガリーで日本人15人隔離

22:06 “中国への配慮”政府は否定 中韓からの“入国制限”波紋広がる

22:12 韓国「ビザなし渡航」停止で対抗

22:15 待機場所 空港近くのホテルも

22:16 緊急事態宣言「慎重に抑制的に」

22:18 感染者受診の医療従事者も… ライブハウス訪問 8人が感染

22:20 政府は経済対策の検討を…

・ 弁護士・野村修也氏のスタジオコメント

「(Q. 経済への影響も非常に大きく出てきそうですね。)去年1年間で、中国から日本への観光客は959万人もおられ、その方々が日本で買い物をした金額は1兆5000億円を超えていると見られている。その一部が止まるということになれば、ホテルはもちろん、例えばお土産店なども大変なダメージを受ける可能性があると言える。何よりも、中国は何ととっても、日本の貿易相手国では最大の相手国である。特に日本のメーカーの中には、中国で作った部品を輸入し、製造しているところも多いため、生産ラインにも大きな影響が及ぶのではないかと思います。(Q. 影響を最小限に食い止めるためにも、何かしらの対策が必要になってきますよね。)政府は金融庁を通じ、融資を円滑にするようにと依頼をしており、あるいは政府が保証することによって、お金を借りやすくしたり、あるいは緊急融資をしたり。さらにいえば、メーカーの中で部品を作っているところを日本に呼び戻すというところに補助金をつけるといったような案も今、示されている。さらに私たちの生活という点で見れば、減税が必要になってくる可能性があると思う。一部には消費税を減税すべきだという声もあるが、消費税だと所得の少ない方だ

と消費も少ないため、影響が限定的だということになる。それに対し、所得税の減税も、所得がなければ減税をしても意味がないということがある。実は給付付きの減税措置というものがあり、課税対象の所得がない人にはむしろお金を給付し、課税所得のある人には減税措置をするという仕組みもあるため、この際限定的ではあるが、そういったことも考えてみる必要があるのではないかなと思う。(Q. いろんな人を想定し、次々と手を打っていかねばならない事態であると。)特に一番所得が少なくて、困っている方がへの配慮が一番大事だというふうに思う。」

22:22 心の不安 取り除く支援の輪 “一斉休校” 子どもたちは今

22:32 精神科医に聞く「不安との向き合い方」 子どもや高齢者の心のケアは

・ 赤城病院院長 精神科医・関口秀文氏のスタジオコメント

「(Q. 先日はダイヤモンド・プリンセス号にも入って活動されたと。実際に隔離状態に置かれている方の心の問題や、健康状態を見て、どういう分析をされましたか。)今回、合計5日間活動していたが、対応していたのは60~80代の方が多かった。9日から入っていたが、その時点で薬が足りないなど不安を訴えられる方、また足りなくなったことで普通に起きえるような不安や不眠がさらに助長され、精神的な不調をきたす。それがひどくなっていくと、死にたくなってしまう、自暴自棄になってしまうという方も中には居て、そういう方の対応もしたりはした。

(Q. 実際そういうことを口にされる方がいるということですね。)中にはそういう方もいらっしゃるということである。

(Q. 隔離状態と休校をイコールに繋げることはできないが、環境が全く違う、なかなか外には行けないという、そういった環境下の中で、子どもは不安を感じたり、保護者も不安であったり、いろいろとあると思うが、先生によると子供が不安になったときには腹痛や頭痛など、行動となってサインに出ることがあるということですが、子どもは言葉でなく、行動に出るということですか。)通常でないような状態がこうやって続いたりしてしまうと、大人は精神的な症状を言語化して伝えることができるが、子どもたちはうまくできないため、身体的な症状については比較的分かりやすいし、訴えることができるが、言語化できない部分については、行動として現れることがあるのかなと。

(Q. パツとはサインを読み取りにくいかもしれないが。)赤ちゃん帰りや退行と呼ばれる行動もあるが、震災などでもあったりしたが、遊びの中で『津波だ』と言って壊してしまったり、コロナだと消毒やコロナが付いていると言ったりしているところを、両親が耳にした時に、コロナで普段とは違うことを言っていると心配する両親もいるかもしれない。

(Q. 特異なことなのか。)基本的に通常出ない状況が続くと、生理的な反応として子ども達にとっては出得るということであり、これが起こるイコール病的な状態ではないが、通常では起こりえない反応が起こりえる。こういったことが病的

に繋がらないために、行動をとっていくというところの話かなと思う。

(Q. 行動をとっていくということだが、心のケアとして日課や習慣をつくるというのは。)休校が始まったところであり、学校で普段勉強や友達同士でコミュニティを作り、遊んだりすることができなくなっているため、そういったところを家庭の中でどう取り入れていくか。日課や習慣を作っていくことが、非常に精神的な健康を維持する上では大事であり、何もしないというと非常に精神的に不調になりやすい。

(Q. 勉強への意欲をリードできない、先生の代わりをできないということはどうしたらいいかなど。)確かに学校は集団心理が働いているということもあり、そこが急に家庭に戻り、そこは一人になってしまうというところもあり、学校と家庭で全く同じことはできないため、勉強に限らず、運動が得意な子は庭など、ある程度集団的ではない場所で、行動する。それを習慣化する。それをしっかりと評価してあげるということである。

(Q. 何が起きているのかを説明し、自分の力で守れるということを伝えと。)しっかりと説明するということは、まず子ども達のことを理解してあげるということも大切なかなと。今回、感染の不安などについてフォーカスしがちだが、子ども達は何の不安を感じ、何を心配しているのかを聞いてあげることも大切なこと。友達と会えないことや、学校の勉強の遅れが不安など聞いてあげ、そういったところのケアをしてあげるというところにつながると思う。『自分の力で守れる』ということを伝えるということは、感染の不安を訴えていると、親はつい『コロナにかかったら大変なことになる』などと言いがちだが、それで不安や恐怖を感じてしまう。親も不安であるが、同じように不安な思いになってしまうため、子どもにうつることはよくないし、子どもが高齢者への伝播者になってしまうことも良くない。しっかりと子ども自身が感染の管理をすれば、祖父母へ感染させないことに繋がり、守ってあげられるということも小学生だけでなく、中高生にも伝えあげるという形が大事であると思う。

(Q. 重篤なりやすい高齢者の方々への心のケアも大事になってくるんですね。)災害で精神医療をやっていく中で、お子さんと同じように高齢者の方も災害弱者と呼ばれるように自分達で声を発信できないかたりしやすい存在なのかなと思っている。子ども達は親御さん達が注意深く見てくれたりすることはあるが、高齢者になると孤立化しやすいというところがあるため、それは地域の方で見えたり、家族の方が電話やチャットなどのツールでしっかりとコミュニケーションを継続していくことが大切だと思う。」

・ 野村修也氏のスタジオコメント

「スクールカウンセラーという制度があり、全国の学校の中で設置されているのは定期的に相談できる仕組みが整えられている中学校は多いが、高校だと約7割、小学校だと約5割しか整っていない。地域によっても、バラバラになっており、そういう相談できるところがないという状況があるんだと思う。どうやって埋め

ていくのかというのは非常に大事であり、今であれば電話の窓口をこれから作ったり、あるいは無料アプリのようなものでチャットのような形で相談するということが最近増えているため、そういった仕組みを今回のコロナウイルス対策として、一つ考えていく必要があるのではないかという気はする。

(Q. どこに相談していいかわからない部分もあるため、自治体のホームページなどを見てもいいかもしれない。)自治体の中には、心の相談の統一ダイヤルがあり、そこかけると自分の住んでいる自治体の番号に繋がるようになっている。そういうところに相談してみるのも大事なのかなと。特に今、子どもの話になっていたが、やはり親の心のケアも非常に大事だと思う。そういう点で、検討していくことが必要なのかなと思う。」

22:45 槇原敬之被告(50)を保釈 「深くおわび」頭下げ謝罪

22:48 気象情報

22:54 スポーツ

23:05 北海道「ライブバー」で感染者

■TBS「NEWS 23」(23:30～)

<放送内容>

23:30 オープニング (ゲスト: 評論家・荻上チキ氏)

23:31 新着 韓国対抗措置 今月9日から邦人ビザ免除停止へ

23:34 入国規制 広がる混乱 効果に疑問の声

23:36 入国規制 野党は「後手」専門家会議に相談なし

・専門家会議委員 東京慈恵会医科大学教授・吉田正樹氏の電話取材コメント

「中国に関してはちょっと遅かったという気がする。新たな感染者が減少することは、ある程度効果が出ていると思う。」

(Q. この措置に関しては専門家会議には何か相談とかあったのでしょうか。)

特にないですね。政治的な判断なので、専門家会議としてもっと入って来るのを止めたほうがいいという意見はあまりなかったと思う。」

23:39 入国規制 政治決断の背景 中国への配慮か

23:40 入国規制 政治決断の背景 保守系からの“突き上げ”も

・VTR後のスタジオトーク (評論家・荻上チキ氏を交えて)

小川彩佳・キャスター「この規制に踏み切った政府ですけれども、なぜこのタイミングなのかについては、国会でもその政治的判断の根拠ですとか、これまでの措置と矛盾しているんじゃないかということも指摘されています。では安倍総理ばどのように説明しているのかと言いますと、昨日新型コロナ対策本部でこのように説明しているんですね。『諸外国での感染が拡大する中で今が正念場である』と。水際対策についても『引き続き躊躇なく断行していく』そして『感染拡大を防止し、国民の不安感を解消するため』と、このように理由を挙げているんですけれども、チキさん、これ説得力はどうでしょうね。」

評論家・荻上チキ氏「言葉は一個一個強いんですけども、根拠であるとか、裏付けというのは不透明ですよ。今回が政治的判断と言われる背景の一つは、科学的判断ではないというところが大きいと思うんです。つまり誰の意見を聞いて、どんな専門家の意見を尊重して、どんな数字を踏まえて、今回の判断に至ったのかということを示すのが、通常の科学コミュニケーションだと思うんですが、今回は決断しましたと言われているんですけども、こういうデータに基づいて決断しましたということが発表されていないんですね。これの問題点というのは、今後にも響いてくるんです。というのは、こういう状況を改善するために決断しましたというようなことを言えば、それが改善すれば、今の対応というのはなくなるんだと、まあ入国制限が解除されるんだと見込みが立つわけですけども、どの数字に立ってそれを解除するのかという見通しが、今後立たなくなるわけですね。不安感を解消するためとあるんですけども、多くの人達が持っている不安というのは、自分が病気になるかどうかという不安もさることながら、これがいつまで続くのか、経済や社会に対する影響はいつまで続くのかで、数字に基づいて対応したのであれば、出口はわかりやすいんですよ。感染者数がこれぐらいに減るなら解除しますということであれば見えてくるんです。根拠は示されていれば。ただ今回は、その根拠が示されていないので、その辺りの不安感というのが残ってしまう格好になりますね。」

小川彩佳・キャスター「逆に増えてしまうかもしれないと。その根拠についてなんですけれども、先週土曜日の段階では、安倍総理はこのように述べていたんですね。中国からの入国規制措置について聞かれて、『感染者数の動向等をしっかり分析し、必要があれば講じる』と。感染者数の動向とありますけれども、今どうなっているのか。中国で武漢がある湖北省以外の感染者数を見てみますと、減少しているフェーズなんですね。最近は5人だったり、17人だったり。こうした人たちが日本より少ないという話になっているわけですけども、こういった数字がある中で、じゃあ今回の発表は何なんだろうというふうに思ってしまうところもあります。」

評論家・荻上チキ氏「ですので、この数字ではなく別の数字があるんだということであれば、それを政府は説明する必要がありますし、総理はそういったことを会見で、自らの口で説明することも必要になると思います。」

小川彩佳・キャスター「このタイミングということを考えると、習近平主席の訪日が延期になったタイミングと重なるということもありますけれども、その辺りはどうなのでしょう。」

評論家・荻上チキ氏「それがやはり政治判断なのではないと言われる所以ですよ。様々に科学的な根拠があるので、その点について説明をしてくれるという部分が強ければ、政治的な面があつたとしても、今回の判断が妥当かどうか議論できるんですけども、そこをなんととっても示すということが、第一歩だったはずだと思います。」

小川彩佳・キャスター「一方韓国はこの措置に反発し日本へのビザ免除を停止しましたよね。協力してやっていきましょと、文在寅大統領とも歩調を合わせていたところに、このような状況になっていますけれども、最も良くない方向に進んでいるのかなというふうに思ってしまうけれども。」

評論家・荻上チキ氏「そうですね、それぞれが政治的メンツを大事にして、それぞれの国民向けのアピールとして、こういった例えば入国制限などを使うということなのであれば、むしろ経済的影響というものの悪化が長引いてしまうということになるわけですよね。むしろ今後は、新型コロナ対策、例えば物資を融通しあったり、ノウハウを融通しあったり、情報を提供しあったりという強力な政治が必要な中で、こういった意味では、幼稚なパイ投げみたいな、なんかそっちがやったからじゃあこっちもみたいなものが繰り返されてしまうと、やはり政治不信も高まってしまいますし、様々な科学的対応の根拠が脆弱になってしまうので、その辺りは冷静に対応してほしいなと思います。」

小川彩佳・キャスター「『根拠』というのがキーワードになってきましたけれども、根拠をめぐっては、突然の一斉休校の発表の後、先週土曜日に総理が会見を行いました。ちょっと改めてそちらをご覧ください。」

(VTR)安倍総理「私が決断した以上、私の責任において、様々な課題に万全の対応をとる決意であります。必要な措置は躊躇なく実施する考えであります。」

小川彩佳・キャスター「(VTR後) 短くお伝えしたわけですが、コロナについて、このような会見で国民に直接語りかけるというのは、この機会が初めての機会であったわけですが、この会見、どのようにお聞きになりましたか。」

評論家・荻上チキ氏「まずプロンプターと原稿を読み上げるという格好で、何か記者からの質問もですね、あのこれ総理が国会で自ら言っているわけですが、事前取りをした、段取りが決まっている記者からの質問しか答えずに、フリーランスの江川紹子さんなどが、まだ質問ありますよと言っているにもかかわらず、退席をするという状況だったので、一方的に言うだけだったら、これはビデオメッセージでも良かったんじゃないかなと、不要不急の会見だったんじゃないかと。そうと言ってしまふんですよね。ただこうやって表に出てきて説明すること自体はとても重要なので、なのであれば、その根拠であるとか、措置それについて、多くの人たちが関心を持っている中では、そこについてしっかりと記者たちの質問に答えて欲しかったなと思います。」

小川彩佳・キャスター「最後まで答えていただきたかったところですよ。」

23:47 速報 新型コロナ 国内感染 今日だけで56人

23:48 新型コロナ 突然収入ゼロに…フリーランス悲鳴

23:50 新型コロナ フリーランス悲鳴 政府補償も対象外

・ 荻上チキ氏のスタジオコメント

「(小川：こうしたフリーランスと呼ばれる方、300万人以上いらっしゃるんですね) そうですね、今回休校要請をした上で、それに対応した保護者の一部に

は上限付きで保証するという事なんですからけれども、でもそのさまざまな自粛要請というのは、実はイベント事業であるとか、いろんなものに対して、この間政府が発信しているの、あるいはその公平な政治を行うという点でも、フリーランスなど含めた幅広い人たちに対して、貸付ではなくて補償すべきだと思いますよ。これから経済的なショックが大きくなるということは想像できるので、今こそ大規模な財政を支出して、人々の生活を支えると同時に、これからの景気も立て直していきますよという、そういった強いメッセージを政府に発信してほしいと思います。(小川：政府や多様な働き方を推進してきたわけですから、ちゃんとセーフティネットを設けていただきたいと思いますよね。)」

23:56 埼玉4歳女児虐待死か 両親逮捕

23:57 野田虐待死 暴行次々に否定

23:57 スポーツ

00:10 速報 NY株また急落「コロナショック」

00:10 新型コロナ「PCR検査」保険適用始まる

00:12 天気

00:13 エンディング

- ・ 荻上チキ氏のスタジオコメント

「(Q. 今後もコロナへの政府の対応、しっかり見ていかなければならないですね。) 今、家で仕事をしてますという方も多いと思うんですけど、今の国会、ウェブなんかで動画で全部見れますので、そういったところもぜひ注目してほしいなと思うし、特に労働者に対する補償はどこまでされるのか、これは来週も重要な論点です。それから歴史的緊急事態というふうに宣言されると、これは公文書、関連する文書など全部厚労省として後世に残すということもできる。残さなければならぬので、そこを決断できるかどうかですね。」

3/8(日)

■TBS「サンデーモーニング」(8:00～)

<放送内容>

8:00 広がる“クラスター感染” どうなる？PCR検査

- ・ 毎日新聞論説委員・元村有希子氏のスタジオコメント

「韓国や他のアジアの国々は、2002～3年のSARSや、2010年代のMERSを経験して、それを教訓にかなり広い範囲で検査をして、感染者を把握しようという体制になってるんですね。日本は幸か不幸か、SARSやMERSの時はあまり被害がなく、その反省がないまま来ているというのがありますよね。(関口：ということは、この仕組みをなんとかしなきゃいかんでしょう、これからだってこういうことが起きる可能性が大きいわけだから) だと思います。(関口：何か厄介だよな) 検査できないのは歯がゆいですよ。」

- ・ 日本総合研究所会長・寺島実郎氏のスタジオコメント

「習近平中国主席の訪日が中止になった。これが東京オリンピックに向けてのオレンジ色だという言い方がある。そういう意味で言うと、90 カ国以上にまで広がっていて、パンデミック宣言、つまり世界中に蔓延しているという宣言を、もし WHO がやったら、終息宣言が出ない限りオリンピックなんかできませんよねというふうになる。そうすると7月のオリンピックのためには、少なくとも5月末ぐらいにまでに終息宣言が出ていないといけない。当然のことながら、一番の震源地である中国が収束していなかったら、終息宣言も出せなくなってくる。今 WHO は微妙な状況でもって宣言を出さずにいるけれども、皮肉な言い方だが、中国が収束宣言を出さない限り、WHO も一旦出した収束宣言を出せないということになるから、変な話だが日本のオリンピックの命運というか、開催できるかどうかは、中国が握っているなんていう変なパラドックスみたいなことになっているんだということを、この世界観から言ったときに、まずそれだけ話しておきたい。」

8:17 日本が新たな入国規制 なぜ“特措法”改正？

- ・ フォトジャーナリスト・安田菜津紀氏のスタジオコメント

「例えば入国制限も、専門家会議を経ていないということが分かっていると思う。ではどういう専門家の、どういう分析で行ったものなのかということが曖昧だし、その前の、例えば休校の要請に関しても、科学的な根拠はいまだに示されていないし、意思決定の議事録すら残っていないということだったと思う。なので、ウイルスの感染拡大だけではなくて緊急事態が安倍政権の中で起こっているということも言わざるを得ないと思う。こうした事態で、例えば政府方針を批判すべきではない、そういう場合ではないという声もあるけれども、例えばこうした混乱の中だからこそ、日頃脆弱な立場にいる方が追いやられがちだと思う。例えば今仕事を休めない保護者の方はどうするのかとか、生活困窮者の方がさらに追い詰められていないかであったり、その都度それは問いかけていかなければいけないし、批判を許さないという空気感自体に、私たちは警戒をしていかなければならないことなのかなとは思います。」

- ・ 元村有希子氏のスタジオコメント

「政治決断を矢継ぎ早に総理はやったけれども、私から見たら、タイミングが1ヶ月遅かったなと思っている。1月30日に対策本部を立ち上げて、2月1日にいわゆる指定感染症に伴ういろんな入国制限などをかけたわけだから、その段階で例えば中国へのもう少し厳しい入国制限や、休校の対応などああいうことやっておくべきだったと思う。なぜためらったのかということは、これから解明されないといけないと思うけれども、PCR検査も1月30日の時点できちんと広げていけば、クルーズ船が来ても早く検疫を終わらせられたし、その後の感染拡大も対応できたと思う。見えない戦いと言うけれども、例えば兵器、飛び道具であるワクチンや薬がない中では、情報とロジスティクス、つまり兵隊が寝たり食べたりする、そういうものが一番大切なんだが、そこに該当する法律の整備や検査の体制というのが1ヶ月遅れてしまった。そこはかなりの失敗と言っていいと

思う。」

- ・ BS-TBS「報道 1930」キャスター・松原耕二氏のスタジオコメント

「例えば台湾ではものすごくスピーディーに行って、かなり封じ込められていて、しかも政権の支持率も上がったたりしているわけだから、大事なことは緊急事態宣言を出すことではなくて、やるべきことを早くやることに尽きると思う。実はこれをめぐって自民党の中でだいぶ空気が変わっていると感じていて、一強の中でみんな黙っていたことがあったわけだが、実は今回はあまりの遅さ、後手に回ってること、あるいは官邸の中で一部の人間が決めているじゃないかということに、ものすごく実は自民党内不満が溜まっていた、かなりもう怒りの声を出す人がいる。だからここは先ほど安田さんも言ったように、専門家を入れること、きちんと評価すること、しかも専門家も研究者だけじゃなくて、臨床医なども入れて幅広く意見を聞いて、きちんと早く対応する。その体制を至急つくってほしいと思う。」

- ・ 寺島実郎氏のスタジオコメント

「恐怖心が理性を超えていくと、不安な社会心理というのがすごいことになって、それを背景にして、まさに今我々が体験していることというのは、官邸主導の国難政治というものに巻き込まれていっていると思う。要するにどういうことかというと、今本当にやるべきことが、検査であり、医療であり、研究である。立ち向かっていかなければいけない。ところが文科省の現場もびっくりするような形で、全国の小中高校を止めた。そのことによって周りにものすごい大きなハレーションが起こった。経済的にも観光の時代じゃないということで、もう凍りついてきている。マイナス成長になるんじゃないかというような状況になってきている。本当だったらそこに集中してやらなければいけないのを、いつのまにか、例えば国の予算の何千億というのが休業補償なんていうところに使われていく。本当だったら、医療であり、検査の所に集中して、今立ち向かっていかなければいけないのに、何かズレてきている。我々がしっかり認識しなければいけないとこだと思う。」

8:32 1週間振り返り

8:43 天気

8:43 スポーツ

9:14 特集 東日本大震災 あの日から9年

■テレビ朝日「サンデーステーション」(16:30～)

<放送内容>

16:30 オープニング

16:31 中国 隔離施設“倒壊の瞬間” 約70人下敷き 4人死亡

16:33 新型コロナで「髄膜炎」か 国内…20代男性は重症

16:34 あすから中韓“入国制限” 「駆け込み帰国」が続出

16:37 “入国制限”で農家困惑 実習生不足で大打撃

16:39 行き場を失う子どもたち 「利用禁止」の公園も

16:43 20代男性が「髄膜炎」発症 新型コロナは肺炎以外にも？

- ・ 医薬基盤研究所センター長・保富康宏氏のスタジオコメント

「まだ症例数が一例しかないということで、そこを見てもみないとわからない。例えば、白血病ウイルスで髄膜炎、エイズウイルスで脳症などもあり、認められることはあるが、今回はまだ一例しかないため、多いのか少ないのか、この方だけが特別な例なのかということは少し精査する必要がある。

(Q. 海外での感染者も含め、検証しなければ見えてこないということか。)中国には万という例があるため、その中から検証していくことかと思う。」

16:49 「緊急事態宣言」の北海道 取材でみえた“生活の変化”

16:56 “特措法”法改正なぜ必要… 「緊急事態宣言」の発動は？

- ・ ジャーナリスト・後藤謙次氏のスタジオコメント

「(Q. なぜ今になって法改正をしているのか。)初動の段階で、クルーズ船の問題があり、指定感染症にしてしまったため、適用できないと政府が判断したことをずっと引きずっている以外、適用できない理由が見つけにくい。そこにこだわりがあったのに、あえて法改正しようということであると思う。

(Q. 実際に緊急事態宣言は出るのか。)官房長官は『非常に出にくい』と言っている。一番難しいのは、宣言を出して、いつ終結するかという点であり、それはなかなか難しい。現に東京五輪を控えている中で、緊急事態宣言を出してしまうと開催にも影響を与えるということで、現実問題として政治的には非常に難しいと思う。」

16:58 「新型コロナは2種類」 北京大の研究者ら発表

- ・ 保富氏のスタジオコメント

「この論文で述べられているのは当初、武漢で発生した時にはL型で非常に重症であった、その後にS型という軽症のものが出てきた。この2種類が現在あるというふうに述べられている。

(Q. 両方に感染する可能性はあるのか。)実際に、このウイルスに二度かかるということは可能性としては、ほとんどないと思う。多いケースではないが、おそらく両方のウイルスが同時に入り、二度かかるというのは非常に考えづらいと思う。S型、L型のどこが違うかというと、病原性を規定するほんの一部のところが違うだけで、構造上にほとんど変わりはない。将来的にワクチンや抗ウイルス剤を考えると、S型用、L型用を考える必要はないと思う。

(Q. 日本ではどちらが蔓延しやすいか。)実際にS型L型があるとすれば、蔓延しやすいのは軽症のS型であると思う。L型は実際に重症化するため、感染すると入院したり、最悪の場合には亡くなったりするため、拡散の機会が少ない。一方、S型は感染をしても症状が軽かったり、全然気が付かないような状態であれば、普通に日常生活をするため、蔓延していく可能性が高いと考えられる。

(Q. 日本では重症化するリスクが少なくなると。)一つポイントがあり、L型のように重症化するものであれば、SARSのように一気に収束化してしまい、もう出て来ない可能性がある。S型のように軽症だと、逆に蔓延化してしまい、新たな風邪のウイルスとして、我々と共存する可能性がある。

(Q. どちらがやっかいだと言えるか。)致死率の高いL型も非常に困るが、S型も軽症であり、なおかつ新型であるため、そこそこ症状を出す、皆さんが免疫を持つようになれば、どの程度の風邪になるかは少し分からない。ただ致死的なL型よりは、S型の方がいいかと思う。

(Q. シンガポールでは感染者が138人で今も増えている。高温多湿でも関係がないのか。)実際に、コロナウイルスはインフルエンザ等々とは違うと当初から言われており、先だってWHOも『インフルエンザのように夏になれば消えるという根拠はない』と発表しており、同じように今後も対策はなくなるまで、続けていくべきであると思う。

(Q. 加湿対策などはあまり効果がないと。)実際に感染するのは屋内であり、飛沫しているウイルス等々を、加湿器で落としていくというのは効果があると思う。」

17:05 ニュース読みくらべ 拡大する“不安” どう対処？

・ 後藤氏のスタジオコメント

「政府が打ち出した公約的な問題を一つ一つ結論を出していく。例えばマスクを6億枚出しますよと、目の前にマスクが出てくれば、政府の手が効いていると不安がなくなる。ところが、現実を見てみると、最初にイベントを中止・延期、その後に学校の休校、さらにその後も中韓の入国制限、どんどん強化が進んでいくとさらに、この先があるのではないかと不安がよぎってしまう。その悪循環に今はまっているのではないかと思う。」

17:15 今週のランキング

17:29 山梨 コンビニ店員感染 当初保健所に虚偽の説明

17:31 一斉休校から1週間 “受け皿” 学童の現実

17:38 アメリカでも“買いだめ” 「銃弾」の売り上げが倍増

17:39 トランプ氏ら要人が出席 集会参加者が“陽性反応”

17:40 人口6000万のイタリアで… 北部「1600万人」を隔離

17:41 きょう新たに6人感染 北海道は100人超える

17:44 埼玉の4歳女児虐待死 「イライラして暴行した」

17:45 スポーツ

17:49 名古屋市 死亡の男性は“陽性” きょう新たに6人感染確認

17:50 44歳男性刺され死亡 女を逮捕「夫を刺した」

17:51 気象情報

17:55 経済・暮らしに影響深刻… 緊急対策第2弾 中身は？

・ 後藤氏のスタジオコメント

「(Q. どんな対策になるのか。)政権幹部は『総理決断の後付け』だと。なんとも情けない答えだが、これまで総理は、イベントの中止・延期や学校の一斉休校など、大きな政策転換を矢継ぎ早に出してきた。それに対し、霞ヶ関を軸にした官僚機構が、なかなか追いついていけなかった。昨日の対策本部でも総理が言っていたが、4本柱の中に、それらの政策を肉付けしていこうということであり、総理発言を超えるような驚くようなものは、なかなか出て来ない実態ではないかと思う。

(Q. 今回の対策に予備費 2700 億円を活用ということだが、各国と比べてもかなり少ないような印象である。十分な対策はとれるのか。)2700 億円の枠内でやろうとしているため、規模感が出ないということである。多くの官僚の頭の片隅には補正予算の編成がある。ところが今、来年度予算案の国会審議が続いているため、今補正は持ち出したくないという政府側の意向もあり、本音のところがしっかりと議論できていない。それが今の実態であると思う。」

以上

新型コロナウイルス関連報道振り

3月6日（金）

■テレビ朝日「報道ステーション」（21：54～）

22:20 政府は経済対策の検討を…

・ 弁護士・野村修也氏のスタジオコメント

「(Q. 経済への影響も非常に大きく出てきそうですね。)去年1年間で、中国から日本への観光客は959万人もおられ、その方々が日本で買い物をした金額は1兆5000億円を超えていると見られている。その一部が止まるということになれば、ホテルはもちろん、例えばお土産店なども大変なダメージを受ける可能性があると言える。何よりも、中国は何ととっても、日本の貿易相手国では最大の相手国である。特に日本のメーカーの中には、中国で作った部品を輸入し、製造しているところも多いため、生産ラインにも大きな影響が及ぶのではないかと思う。

(Q. 影響を最小限に食い止めるためにも、何かしらの対策が必要になってきますよね。)政府は金融庁を通じ、融資を円滑にするようにと依頼をしており、あるいは政府が保証することによって、お金を借りやすくしたり、あるいは緊急融資をしたり。さらにいえば、メーカーの中で部品を作っているところを日本に呼び戻すというところに補助金をつけるといったような案も今、示されている。さらに私たちの生活という点で見れば、減税が必要になってくる可能性があると思う。一部には消費税を減税すべきだという声もあるが、消費税だと所得の少ない方だと消費も少ないため、影響が限定的だということになる。それに対し、所得税の減税も、所得がなければ減税をしても意味がないということがある。実は給付付きの減税措置というものがあり、課税対象の所得がない人にはむしろお金を給付し、課税所得のある人には減税措置をするという仕組みもあるため、この際時限的ではあるが、そういったことも考えてみる必要があるのではないかと思う。

(Q. いろんな人を想定し、次々と手を打っていかなければならない事態であると。)特に一番所得が少なく、困っている方がへの配慮が一番大事だと思うふう思う。」

「スクールカウンセラーという制度があり、全国の学校の中で設置されているのは定期的に相談できる仕組みが整えられている中学校は多いが、高校だと約7割、小学校だと約5割しか整っていない。地域によっても、バラバラになっており、そういう相談できる場所がないという状況があるんだと思う。どうやって埋めていくのかというのは非常に大事であり、今であれば電

話の窓口をこれから作ったり、あるいは無料アプリのようなものでチャットのような形で相談するということが最近増えているため、そういった仕組みを今回のコロナウイルス対策として、一つ考えていく必要があるのではないかという気はする。

(Q. どこに相談していいかわからない部分もあるため、自治体のホームページなどを見してみるのもいいかもしれない。)自治体の中には、心の相談の統一ダイヤルがあり、そこかけると自分の住んでいる自治体の番号に繋がるようになっている。そういうところに相談してみるのも大事なのかなと。特に今、子どもの話になっていたが、やはり親の心のケアも非常に大事だと思う。そういう点で、検討していくことが必要なのかなと思う。」

22:32 精神科医に聞く「不安との向き合い方」 子どもや高齢者の心のケアは

・ 赤城病院院長 精神科医・関口秀文氏のスタジオコメント

「(Q. 先日はダイヤモンド・プリンセス号にも入って活動されたと。実際に隔離状態に置かれている方の心の問題や、健康状態を見て、どういう分析をされましたか。)今回、合計5日間活動していたが、対応していたのは60〜80代の方が多かった。9日から入っていたが、その時点で薬が足りないなど不安を訴えられる方、また足りなくなったことで普通に起きえるような不安や不眠がさらに助長され、精神的な不調をきたす。それがひどくなっていくと、死にたくなってしまふ、自暴自棄になってしまうという方も中には居て、そういう方の対応もしたりはした。

(Q. 実際そういうことを口にされる方がいるということですね。)中にはそういう方もいらっしゃるということである。

(Q. 隔離状態と休校をイコールに繋げることはできないが、環境が全く違う、なかなか外には行けないという、そういった環境下の中で、子どもは不安を感じたり、保護者も不安であったり、いろいろとあると思うが、先生によると子供が不安になったときには腹痛や頭痛など、行動となってサインに出ることがあるということですが、子どもは言葉でなく、行動に出るということですか。)通常でないような状態がこうやって続いたりしてしまうと、大人は精神的な症状を言語化して伝えることができるが、子どもたちはうまくできないため、身体的な症状については比較的分かりやすいし、訴えることができるが、言語化できない部分については、行動として現れることがあるのかなと。

(Q. パツとはサインを読み取りにくいかもしれないが。)赤ちゃん帰りや退行と呼ばれる行動もあるが、震災などでもあったりしたが、遊びの中で『津波だ』と言って壊してしまったり、コロナだと消毒やコロナが付いていると言ったりしているところを、両親が耳にした時に、コロナで普段とは違うこ

とを言っていると心配する両親もいるかもしれない。

(Q: 特異なことなのか。)基本的に通常出ない状況が続くと、生理的な反応として子ども達にとっては出得るということであり、これが起こるイコール病的な状態ではないが、通常では起こりえない反応が起こりえる。こういったことが病的に繋がらないために、行動をとっていくというところの話かなと思う。

(Q: 行動をとっていくということだが、心のケアとして日課や習慣をつくるというのは。)休校が始まったところであり、学校で普段勉強や友達同士でコミュニティを作り、遊んだりすることができなくなっているため、そういったところを家庭の中でどう取り入れていくか。日課や習慣を作っていくことが、非常に精神的な健康を維持する上では大事であり、何もしないということ非常に精神的に不調になりやすい。

(Q: 勉強への意欲をリードできない、先生の代わりをできないということはどうしたらいいかなと。)確かに学校は集団心理が働いているということもあり、そこが急に家庭に戻り、そこは一人になってしまうということもあり、学校と家庭で全く同じことはできないため、勉強に限らず、運動が得意な子は庭など、ある程度集団的ではない場所で、行動する。それを習慣化する。それをしっかりと評価してあげるということである。

(Q: 何が起きているのかを説明し、自分の力で守れるということを伝えると。)しっかりと説明するということは、まず子ども達のことを理解してあげるということも大切なかなと。今回、感染の不安などについてフォーカスしがちだが、子ども達が何の不安を感じ、何を心配しているのかを聞いてあげることも大切かなと。友達と会えないことや、学校の勉強の遅れが不安など聞いてあげ、そういったところのケアをしてあげるというところにつながると思う。『自分の力で守れる』ということを伝えるということとは、感染の不安を訴えていると、親はつい『コロナにかかったら大変なことになる』などと言いがちだが、それで不安や恐怖を感じてしまう。親も不安であるが、同じように不安な思いになってしまうため、子どもにうつることはよくないし、子どもが高齢者への伝播者になってしまうことも良くない。しっかりと子ども自身が感染の管理をすれば、祖父母へ感染させないことに繋がり、守ってあげられるということをお学生だけでなく、中高生にも伝えあげるという形が大事であると思う。

(Q: 重篤なりやすい高齢者の方々への心のケアも大事になってくるんですね。)災害で精神医療をやっている中で、お子さんと同じように高齢者の方も災害弱者と呼ばれるように自分達で声を発信できないかたりしやすい存在なのかなと思っている。子ども達は親御さん達が注意深く見てくれたり

することはあるが、高齢者になると孤立化しやすいというところがあるため、それは地域の方で見ていたり、家族の方が電話やチャットなどのツールでしっかりとコミュニケーションを継続していくことが大切だと思う。」

■TBS「NEWS 23」(23:00~)

23:36 入国規制 野党は「後手」専門家会議に相談なし

- ・専門家会議委員 東京慈恵会医科大学教授・吉田正樹氏の電話取材コメント
「中国に関してはちょっと遅かったという気がする。新たな感染者が減少するということは、ある程度効果が出ていると思う。」

(Q.この措置に関しては専門家会議には何か相談とかあったのでしょうか。) 特にないですね。政治的な判断なので、専門家会議としてもっと入って来るのを止めたほうがいいという意見はあまりなかったと思う。」

23:39 入国規制 政治決断の背景

- ・VTR後のスタジオトーク (評論家・荻上チキ氏を交えて)

小川彩佳・キャスター「この規制に踏み切った政府ですけれども、なぜこのタイミングなのかについては、国会でもその政治的判断の根拠ですとか、これまでの措置と矛盾しているんじゃないかということも指摘されています。では安倍総理はどのように説明しているのかと言いますと、昨日新型コロナ対策本部でこのように説明しているんですね。『諸外国での感染が拡大する中で今が正念場である』と。水際対策についても『引き続き躊躇なく断行していく』そして『感染拡大を防止し、国民の不安感を解消するため』と、このように理由を挙げているんですけれども、チキさん、これ説得力はどうでしょうね」

評論家・荻上チキ氏「言葉は一個一個強いんですけれども、根拠であるとか、裏付けというのは不透明ですよ。今回は政治的判断と言われる背景の一つは、科学的判断ではないというところが大きいと思うんです。つまり誰の意見を聞いて、どんな専門家の意見を尊重して、どんな数字を踏まえて、今回の判断に至ったのかということを示すのが、通常の科学コミュニケーションだと思うんですが、今回は決断しましたと言われているんですけれども、こういうデータに基づいて決断しましたということが発表されていないんですね。これの問題点というのは、今後にも響いてくるんです。というのは、こういう状況を改善するために決断しましたというようなことを言えば、それが改善すれば、今の対応というのはなくなるんだと、まあ入国制限が解除されるんだと見込みが立つわけなんですけれども、どの数字に立ってそれを解除するのかという見通しが、今後立たなくなるわけですね。不安感を解消するためとあるんですけれども、多くの人達が持っている不安というのは、自

分が病気になるかどうかという不安もさることながら、これがいつまで続くのか、経済や社会に対する影響はいつまで続くのかで、数字に基づいて対応したのであれば、出口はわかりやすいんですよね。感染者数がこれぐらいに減るなら解除しますということであれば見えてくるんです。根拠は示されていれば。ただ今回は、その根拠が示されていないので、その辺りの不安感というのが残ってしまう格好になりますね。

小川彩佳・キャスター「逆に増えてしまうかもしれないと。その根拠についてなんですけれども、先週土曜日の段階では、安倍総理はこのように述べていたんですね。中国からの入国規制措置について聞かれて、『感染者数の動向等をしっかり分析し、必要があれば講じる』と。感染者数の動向とありますけれども、今どうなっているのか。中国で武漢がある湖北省以外の感染者数を見てみますと、減少しているフェーズなんですね。最近では5人だったり、17人だったり。こうした人たちが日本より少ないという話になっているわけなんですけれども、こういった数字がある中で、じゃあ今回の発表は何なんだろうというふうに思ってしまうところもあります。」

評論家・荻上チキ氏「ですので、この数字ではなく別の数字があるんだということであれば、それを政府は説明する必要がありますし、総理はそういったことを会見で、自らの口で説明することも必要になると思います。」

小川彩佳・キャスター「このタイミングということを考えると、習近平主席の訪日が延期になったタイミングと重なるということもありますけれども、その辺りはどうなのでしょう。」

評論家・荻上チキ氏「それがやはり政治判断なのではないと言われる所以ですよね。様々に科学的な根拠があるので、その点について説明をしてくれるという部分が強ければ、政治的な面があったとしても、今回の判断が妥当かどうか議論できるんですけれども、そこをなんといっても示すということが、第一歩だったはずだと思います。」

小川彩佳・キャスター「一方韓国はこの措置に反発し日本へのビザ免除を停止しましたよね。協力してやっていまいしょうと、文在寅大統領とも歩調を合わせていたところに、このような状況になっていきますけれども、最も良くない方向に進んでいるのかなというふうに思ってしまうかもしれません。」

評論家・荻上チキ氏「そうですね、それぞれが政治的メンツを大事にして、それぞれの国民向けのアピールとして、こういった例えば入国制限などを使うということなのであれば、むしろ経済的影響というものの悪化が長引いてしまうということになるわけですよね。むしろ今後は、新型コロナ対策、例えば物資を融通しあったり、ノウハウを融通しあったり、情報を提供しあったりという強力な政治が必要な中で、こういった意味では、幼稚なパイ投げみ

たいな、なんかそっちがやったからじゃあこっちもみたいなものが繰り返されてしまうと、やはり政治不信も高まってしまいますし、様々な科学的対応の根拠が脆弱になってしまうので、その辺りは冷静に対応してほしいなと思います。」

小川彩佳・キャスター「『根拠』というのがキーワードになってきましたけれども、根拠をめぐっては、突然の一斉休校の発表の後、先週土曜日に総理が会見を行いました。ちょっと改めてそちらをご覧ください。

(VTR)安倍総理「私が決断した以上、私の責任において、様々な課題に万全の対応をとる決意であります。必要な措置は躊躇なく実施する考えであります。」

小川彩佳・キャスター「(VTR後) 短くお伝えしたわけですが、コロナについて、このような会見で国民に直接語りかけるというのは、この機会が初めての機会であったわけですが、この会見、どのようにお聞きになりましたか。」

評論家・荻上チキ氏「まずプロンプターと原稿を読み上げるという格好で、何か記者からの質問もですね、あのこれ総理が国会で自ら言っているわけですが、事前取りをした、段取りが決まっている記者からの質問しか答えずに、フリーランスの江川紹子さんなどが、まだ質問ありますよと言っているにもかかわらず、退席をするという状況だったので、一方的に言うだけだったら、これはビデオメッセージでも良かったんじゃないかなと、不要不急の会見だったんじゃないかと。そうと云ってしまうんですね。ただこうやって表に出てきて説明すること自体はとても重要なので、なのであれば、その根拠であるとか、措置それについて、多くの人たちが関心を持っている中では、そこについてしっかりと記者たちの質問に答えて欲しかったなと思います。」

小川彩佳・キャスター「最後まで答えていただきたかったところですよ

23:50 新型コロナ フリーランス悲鳴 政府補償も対象外

・ 荻上チキ氏のスタジオコメント

「(小川：こうしたフリーランスと呼ばれる方、300万人以上いらっしゃるんですね) そうですね、今回休校要請をした上で、それに対応した保護者の一部には上限付きで保証するという事なんですけれども、でもそのさまざまな自粛要請というのは、実はイベント事業であるとか、いろんなものに対して、この間政府が発信しているので、あるいはその公平な政治を行うという点でも、フリーランスなど含めた幅広い人たちに対して、貸付ではなくて補償すべきだと思いますよ。これから経済的なショックが大きくなるということは想像できるので、今こそ大規模なで財政を支出して、

人々の生活を支えると同時に、これからの景気も立て直していきますよという、そういった強いメッセージを政府に発信してほしいと思います。(小川：政府や多様な働き方を推進してきたわけですから、ちゃんとセーフティネットを設けていただきたいですね。)」

00:13 エンディング

・ 荻上チキ氏のスタジオコメント

「(Q. 今後もコロナへの政府の対応、しっかり見ていかなければならないですね。) 今、家で仕事をしていますという方も多いと思うんですけど、今の国会、ウェブなんかで動画で全部見れますので、そういったところもぜひ注目してほしいなと思うし、特に労働者に対する補償はどこまでされるのか、これは来週も重要な論点です。それから歴史的緊急事態というふうに宣言されると、これは公文書、関連する文書など全部厚労省として後世に残すということもできる。残さなければならぬので、そこを決断できるかどうかですね。」

以上